別冊４

令和６年度

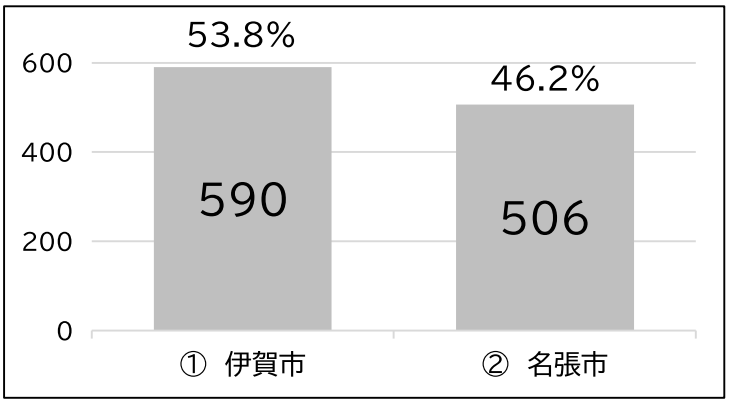
伊賀地域の県立高校に関するアンケート結果（対象：保護者）

伊賀地域高等学校活性化推進協議会

○　調査期間　　：　令和６年９月中旬～１０月２５日（金）
○　調査対象　　：　伊賀地域（伊賀市、名張市）の公立中学校２年生の保護者及び公立小学校５年生の保護者
○　対象者数　　：　２，６０４人（令和６年５月１日時点）
○　調査形態　　：　Ｗｅｂアンケート（LoGo フォーム〈県の電子申請・届出システム〉）により回答　　※Ｗｅｂアンケートにより回答がむずかしい場合は、回答用紙を利用
○　回答者数　　：　１，０９６人（回答率　約４２．１％）
○　多言語対応　：　ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ビザイヤ語

1　右枠内のIDを書いてください。（省略）
2　右枠内のPWを書いてください。（省略）

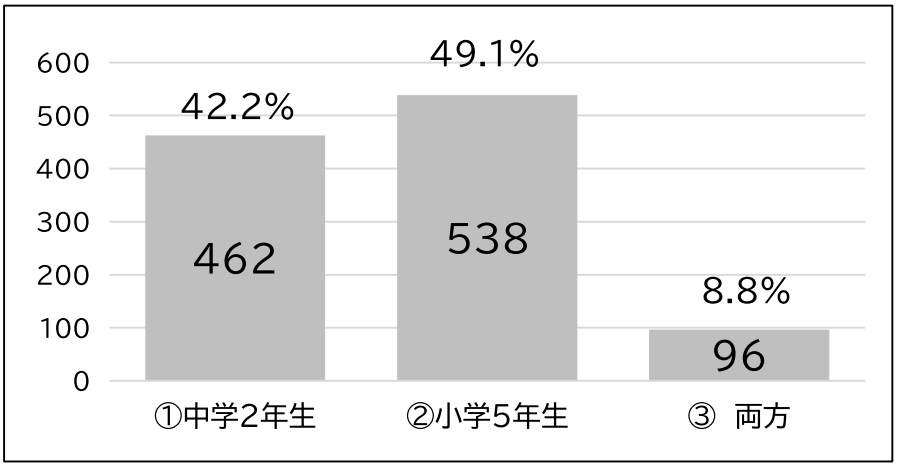
3　あなたは、どこに住んでいますか。次の中から1つ選んでください。
①　伊賀市　　②　名張市



《市別の状況》

①　伊賀市	590	53.8%
②　名張市	506	46.2%
合計	1,096	100.0%

4　あなたのお子さんはどちらの学年ですか。※両方の場合は、2つ選んでください。
①　中学2年生　　②　小学5年生

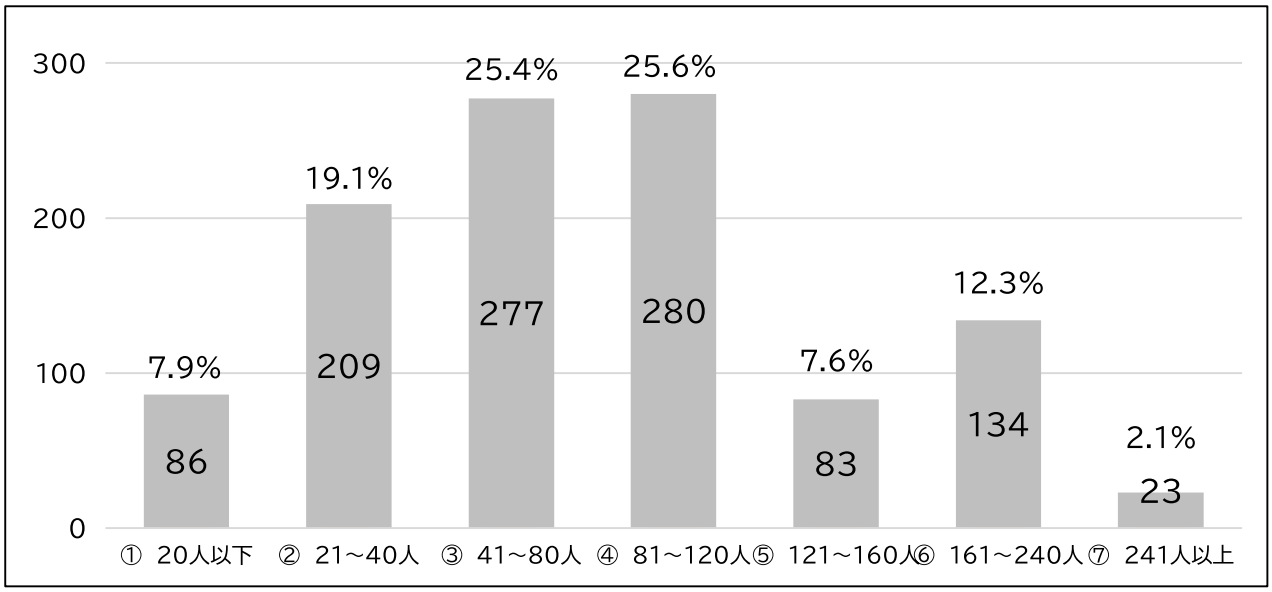


《市別の状況》

	①中学2年生	②小学5年生	③　両方	合計
①　伊賀市	251	288	51	590
	42.5%	48.8%	8.6%	100.0%
②　名張市	211	250	45	506
	41.7%	49.4%	8.9%	100.0%
合計	462	538	96	1,096
	42.2%	49.1%	8.8%	100.0%

5　あなたのお子さんが所属する学年は全体で何人ですか。
次の中から1つ選んでください。
※両方の学年にいる場合は、上の学年でお答えください。

①　20 人以下　　②　21～40 人　　③　41～80 人　　④　81～120 人
⑤　121～160 人　　⑥　161～240 人　　⑦　241 人以上



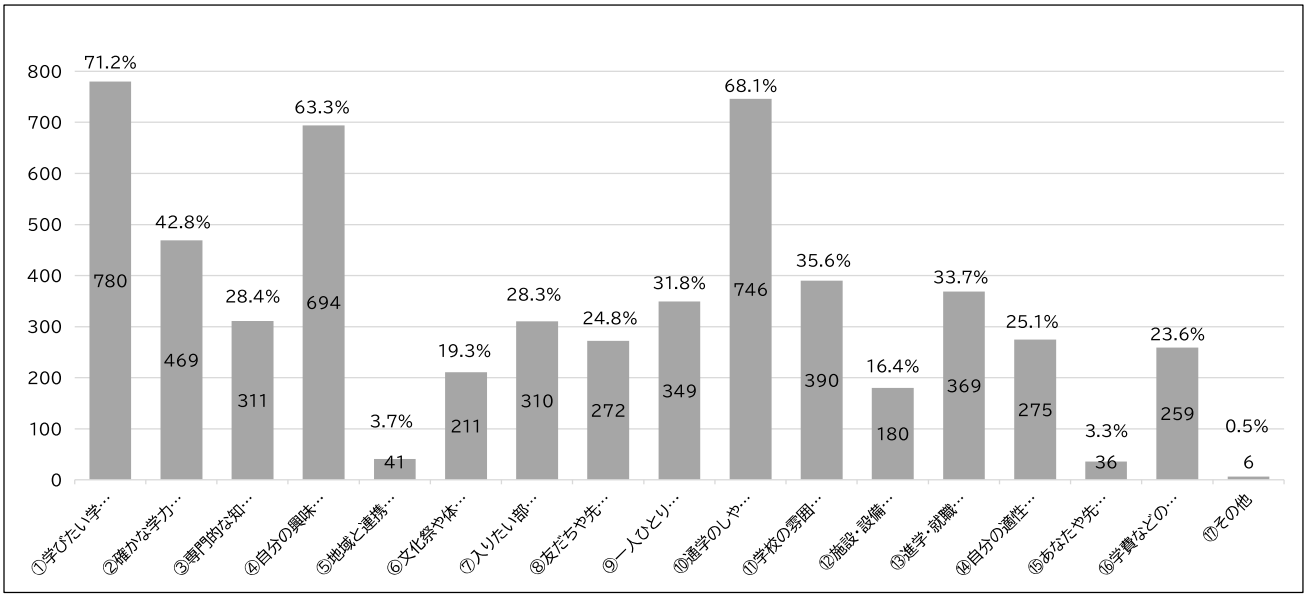
《市別の状況》

	① 20人以下	② 21～40人	③ 41～80人	④ 81～120人	⑤ 121～160人	⑥ 161～240人	⑦ 241人以上	合計
① 伊賀市	73	128	151	117	59	44	15	587
	12.4%	21.8%	25.7%	19.9%	10.1%	7.5%	2.6%	100.0%
② 名張市	13	81	126	163	24	90	8	505
	2.6%	16.0%	25.0%	32.3%	4.8%	17.8%	1.6%	100.0%
合計	86	209	277	280	83	134	23	1,092
	7.9%	19.1%	25.4%	25.6%	7.6%	12.3%	2.1%	100.0%

※令和６年５月１日現在、伊賀地域に第２学年の人数が２４１人以上である中学校はないことから、誤回答である可能性が高い。

6　お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。
次の中から6つ以内で選んでください。

① 学びたい学科やコースがあること
② 確かな学力を身につける授業が充実していること
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できること
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること
⑤ 地域と連携した活動が充実していること
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実していること
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われていること
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがあること
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できること
⑩ 通学のしやすさ・距離　⑪ 学校の雰囲気・イメージ
⑫ 施設・設備の充実　⑬ 進学・就職の実績
⑭ 自分の適性や能力　⑮ あなたや先生、友だち等の周囲の人の意見
⑯ 学費などの経費負担　⑰ その他（質問7の自由記述へ）

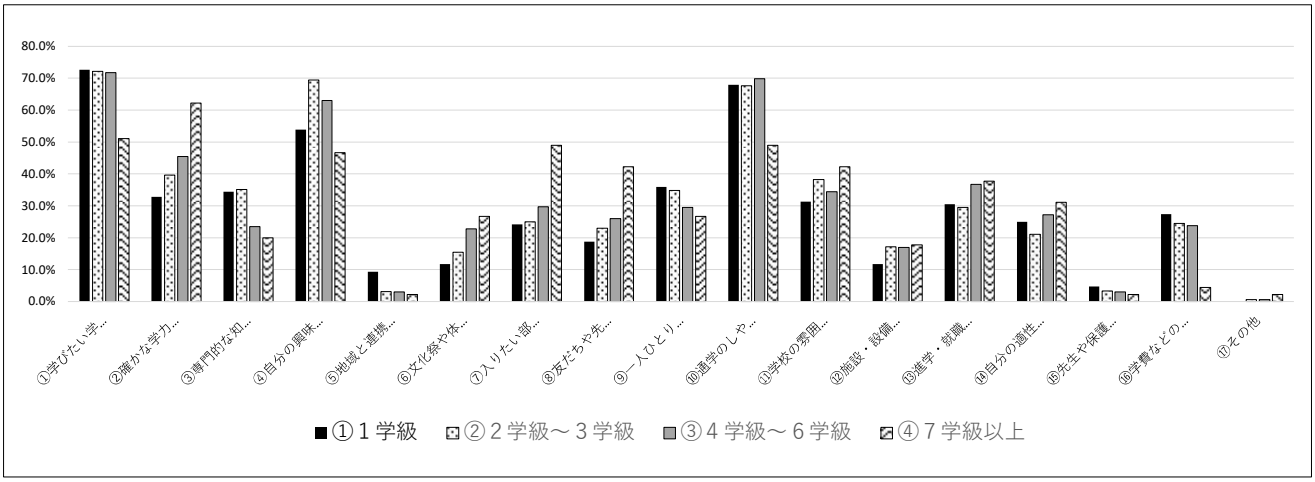


《市別の状況》

	①学びたい学…	②確かな学力…	③専門的な知…	④自分の興味…	⑤地域と連携…	⑥文化祭や体…	⑦入りたい部…	⑧友だちや先…	⑨一人ひとり…	⑩通学のしや…	⑪学校の雰囲…	⑫施設・設備…	⑬進学・就職…	⑭自分の適性…	⑮あなたや先…	⑯学費などの…	⑰その他
伊賀市（人）	426	258	165	368	23	122	175	144	169	408	202	93	192	142	13	128	2
伊賀市の回答者（590人）に対する割合	72.2%	43.7%	28.0%	62.4%	3.9%	20.7%	29.7%	24.4%	28.6%	69.2%	34.2%	15.8%	32.5%	24.1%	2.2%	21.7%	0.3%
名張市（人）	354	211	146	326	18	89	135	128	180	338	188	87	177	133	23	131	4
名張市の回答者（506人）に対する割合	70.0%	41.7%	28.9%	64.4%	3.6%	17.6%	26.7%	25.3%	35.6%	66.8%	37.2%	17.2%	35.0%	26.3%	4.5%	25.9%	0.8%
合計	780	469	311	694	41	211	310	272	349	746	390	180	369	275	36	259	6
	71.2%	42.8%	28.4%	63.3%	3.7%	19.3%	28.3%	24.8%	31.8%	68.1%	35.6%	16.4%	33.7%	25.1%	3.3%	23.6%	0.5%

《参考：問６「高校選びで重視すること」と、問１０「希望する学級数」の関係》

問10＼問6	①学びたい学…	②確かな学力…	③専門的な知…	④自分の興味…	⑤地域と連携…	⑥文化祭や体…	⑦入りたい部…	⑧友だちや先…	⑨一人ひとり…	⑩通学のしや…	⑪学校の雰囲…	⑫施設・設備…	⑬進学・就職…	⑭自分の適性…	⑮先生や保護…	⑯学費などの…	⑰その他
①１学級	93	42	44	69	12	15	31	24	46	87	40	15	39	32	6	35	0
を選んだ保護者(128人)	72.7%	32.8%	34.4%	53.9%	9.4%	11.7%	24.2%	18.8%	35.9%	68.0%	31.3%	11.7%	30.5%	25.0%	4.7%	27.3%	0.0%
②２学級～３学級	257	141	125	247	11	55	89	82	124	241	136	61	105	75	12	87	2
を選んだ保護者(356人)	72.2%	39.6%	35.1%	69.4%	3.1%	15.4%	25.0%	23.0%	34.8%	67.7%	38.2%	17.1%	29.5%	21.1%	3.4%	24.4%	0.6%
③４学級～６学級	407	258	133	357	17	129	168	147	167	396	195	96	208	154	17	135	3
を選んだ保護者(567人)	71.8%	45.5%	23.5%	63.0%	3.0%	22.8%	29.6%	25.9%	29.5%	69.8%	34.4%	16.9%	36.7%	27.2%	3.0%	23.8%	0.5%
④７学級以上	23	28	9	21	1	12	22	19	12	22	19	8	17	14	1	2	1
を選んだ保護者(45人)	51.1%	62.2%	20.0%	46.7%	2.2%	26.7%	48.9%	42.2%	26.7%	48.9%	42.2%	17.8%	37.8%	31.1%	2.2%	4.4%	2.2%
合計	780	469	311	694	41	211	310	272	349	746	390	180	369	275	36	259	6
	71.2%	42.8%	28.4%	63.3%	3.7%	19.3%	28.3%	24.8%	31.8%	68.1%	35.6%	16.4%	33.7%	25.1%	3.3%	23.6%	0.5%



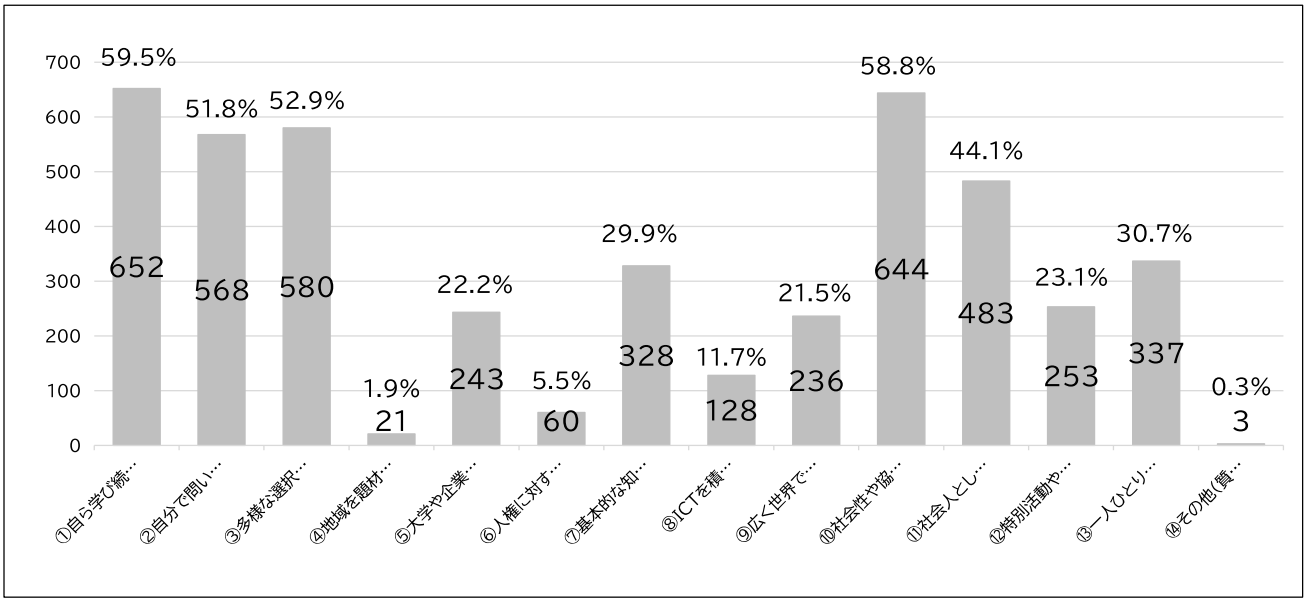
７ 質問6で「⑰ その他」を選んだ方は、重視してもらいたい点をお書きください。

【伊賀市】
- 特別何かを重視して欲しいとは考えていない。
- 就職先、卒業後の進路
- 学校の校舎の老朽化などがあるので、整えて欲しい

【名張市】
- その子が入れる学力がある所、力が低い子でも入れる公立高校がいいです
- 本人の意思
- 部活動にはないスポーツに理解があること。大きい大会などになった時にサポート、理解があること。
- 子どもの人権を上っ面でなく本当の意味で大切にできる指導者がいること。今の公立高校にはないので残念です。

８　お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。
次の中から5つ以内で選んでください。

① 自ら学び続ける力が身につく教育
② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
④ 地域を題材として学ぶ教育　　⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
⑥ 人権に対する意識が高まる教育　　⑦ 基本的な知識が身につく教育
⑧ ICTを積極的に活用する教育　　⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
⑭ その他（質問9の自由記述へ）

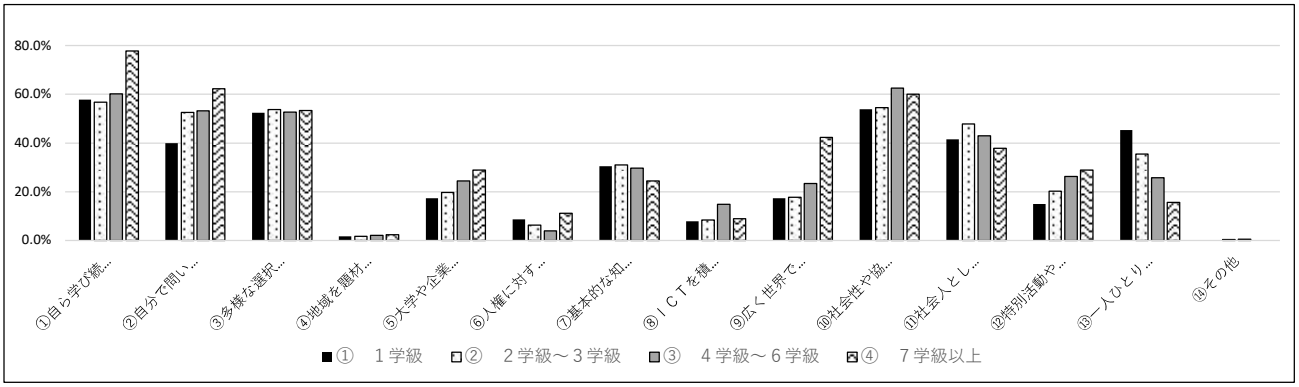


《市別の状況》

	①自ら学び続…	②自分で問い…	③多様な選択…	④地域を題材…	⑤大学や企業…	⑥人権に対す…	⑦基本的な知…	⑧ＩＣＴを積…	⑨広く世界で…	⑩社会性や協…	⑪社会人とし…	⑫特別活動や…	⑬一人ひとり…	⑭その他（質…
伊賀市（人） 伊賀市の回答者（590人）に対する割合	347	302	317	11	143	38	163	69	121	352	269	140	184	1
	58.8%	51.2%	53.7%	1.9%	24.2%	6.4%	27.6%	11.7%	20.5%	59.7%	45.6%	23.7%	31.2%	0.2%
名張市（人） 名張市の回答者（506人）に対する割合	305	266	263	10	100	22	165	59	115	292	214	113	153	2
	60.3%	52.6%	52.0%	2.0%	19.8%	4.3%	32.6%	11.7%	22.7%	57.7%	42.3%	22.3%	30.2%	0.4%
合計	652	568	580	21	243	60	328	128	236	644	483	253	337	3
	59.5%	51.8%	52.9%	1.9%	22.2%	5.5%	29.9%	11.7%	21.5%	58.8%	44.1%	23.1%	30.7%	0.3%

《参考：問８「高校に期待する教育」と、問１０「希望する学級数」の関係》

問８ ＼ 問１０	①自ら学び続…	②自分で問い…	③多様な選択…	④地域を題材…	⑤大学や企業…	⑥人権に対す…	⑦基本的な知…	⑧ＩＣＴを積…	⑨広く世界で…	⑩社会性や協…	⑪社会人とし…	⑫特別活動や…	⑬一人ひとり…	⑭その他
①　１学級	74	51	67	2	22	11	39	10	22	69	53	19	58	0
を選んだ保護者(128人)	57.8%	39.8%	52.3%	1.6%	17.2%	8.6%	30.5%	7.8%	17.2%	53.9%	41.4%	14.8%	45.3%	0.0%
②　２学級～３学級	202	187	191	6	70	22	110	30	63	194	170	72	126	1
を選んだ保護者(356人)	56.7%	52.5%	53.7%	1.7%	19.7%	6.2%	30.9%	8.4%	17.7%	54.5%	47.8%	20.2%	35.4%	0.3%
③　４学級～６学級	341	302	298	12	138	22	168	84	132	354	243	149	146	2
を選んだ保護者(567人)	60.1%	53.3%	52.6%	2.1%	24.3%	3.9%	29.6%	14.8%	23.3%	62.4%	42.9%	26.3%	25.7%	0.4%
④　７学級以上	35	28	24	1	13	5	11	4	19	27	17	13	7	0
を選んだ保護者(45人)	77.8%	62.2%	53.3%	2.2%	28.9%	11.1%	24.4%	8.9%	42.2%	60.0%	37.8%	28.9%	15.6%	0.0%
合計	652	568	580	21	243	60	328	128	236	644	483	253	337	3
	59.5%	51.8%	52.9%	1.9%	22.2%	5.5%	29.9%	11.7%	21.5%	58.8%	44.1%	23.1%	30.7%	0.3%



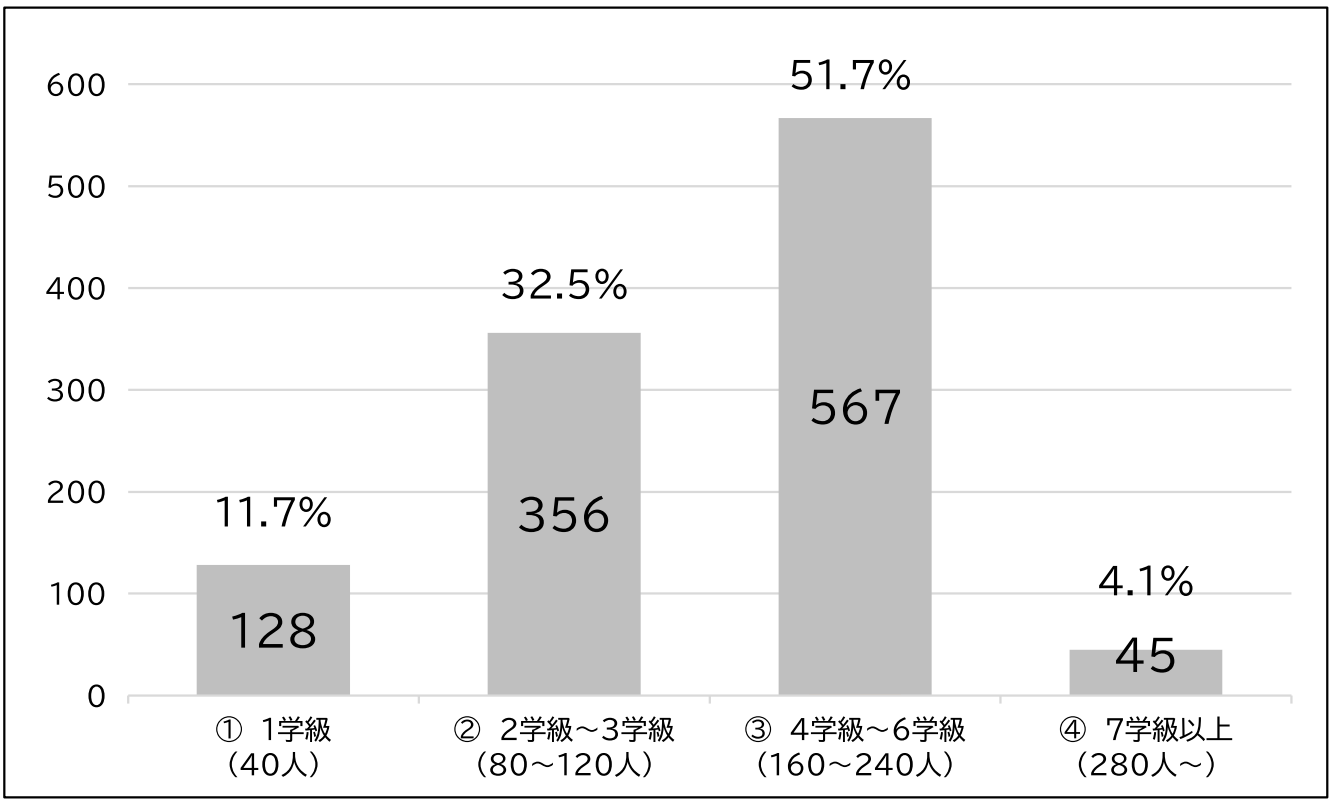
９　質問8で「⑭　その他」を選んだ方は、期待することをお書きください。

【伊賀市】
・スポーツを強みにしている学校

【名張市】
・溢れかえる情報の中から、自分やその時々の状況に応じたものを選び取れる力を培ってくれる教育。
・自分の好きなこと・やりたいこと・得意なことを見つけられる学び。やりたいことを・やりたいように・やりたいだけできる学び。教室や先生に限りをつけることなく、外に飛び出してもいい、誰にでも、どの先生にも学べる柔軟な学び。生徒のやりたいに寄り添える先生がいること。型にはまらず柔軟に考えたり、アイデアを出したり、生徒の意見を否定せず最後まで聞き、認め、肯定した上で、求められたときだけ意見を出し、助けを求められたら行動できる先生がいること。大人・子供・先生・生徒など立場をつけることなく、ひとりひとり、お互いに一人の人間として扱われること。大人や先生が偉ぶることなく人として尊敬できる人であるようにしている。

10　お子さんが進学する高校の1学年あたりの学級数（人数）について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。質問6の「高校を選ぶときに重視する点」と質問8の「高校に期待する教育」の回答もふまえ、次の中から1つ選んでください。
※高校の学級は、1学級 40 人を基本としています。

① 1学級（40 人）　② 2学級～3学級（80～120 人）
③ 4学級～6学級（160～240 人）　④ 7学級以上（280 人～）

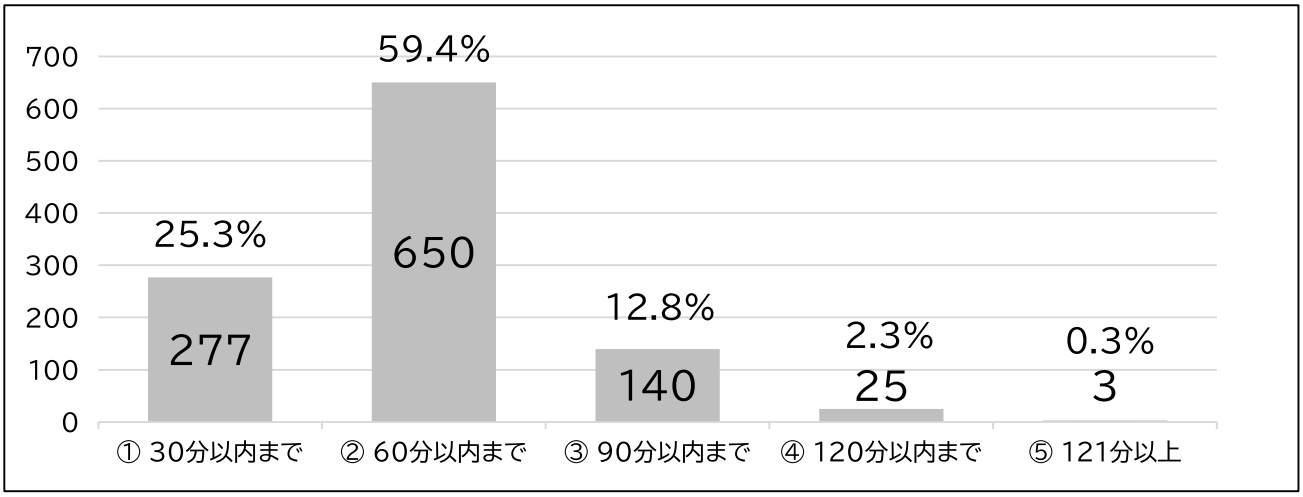


《市別の状況》

	① 1学級（40人）	② 2学級～3学級（80～120人）	③ 4学級～6学級（160～240人）	④ 7学級以上（280人～）
伊賀市（人）	82	180	299	29
伊賀市の回答者（590人）に対する割合	13.9%	30.5%	50.7%	4.9%
名張市（人）	46	176	268	16
名張市の回答者（506人）に対する割合	9.1%	34.8%	53.0%	3.2%
合計	128	356	567	45
	11.7%	32.5%	51.7%	4.1%

11　お子さんが進学を希望する高校に通学するとしたら、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度までなら可能ですか。次の中から1つ選んでください。

①　30 分以内まで　　②　60 分以内まで　　③　90 分以内まで
④　120 分以内まで　　⑤　121 分以上

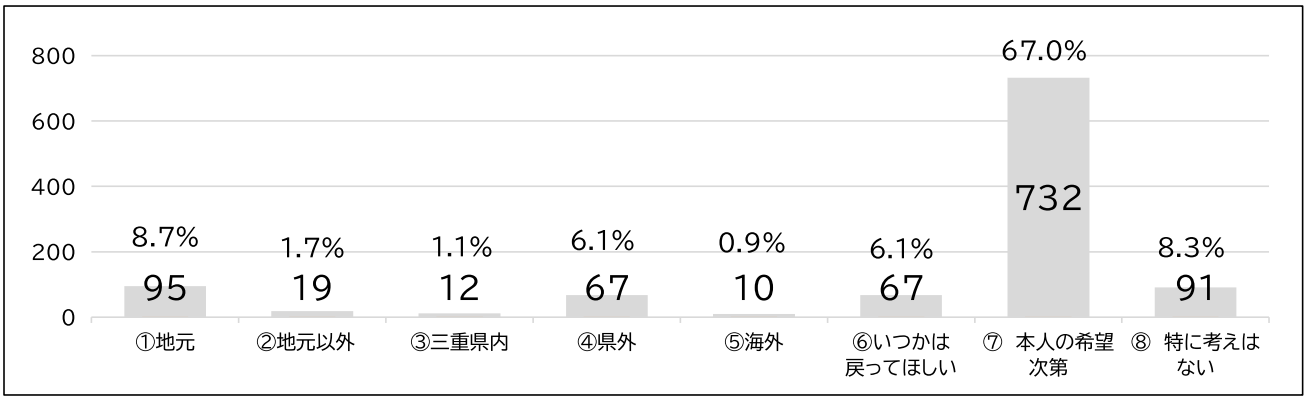


《市別の状況》

	① 30分以内まで	② 60分以内まで	③ 90分以内まで	④ 120分以内まで	⑤ 121分以上
伊賀市（人）	176	330	66	15	2
伊賀市の回答者（589人）に対する割合	29.9%	56.0%	11.2%	2.5%	0.3%
名張市（人）	101	320	74	10	1
名張市の回答者（506人）に対する割合	20.0%	63.2%	14.6%	2.0%	0.2%
合計	277	650	140	25	3
	25.3%	59.4%	12.8%	2.3%	0.3%

12　将来(中学・高校・大学等の学校を卒業後)、お子さんにはどこで生活したり、働いたりしてほしいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

①　地元(現在住んでいる市町)　②　地元以外の伊賀地域　③　伊賀地域以外の三重県内
④　県外　⑤　海外　⑥　一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい
⑦　本人の希望次第　⑧　特に考えはない

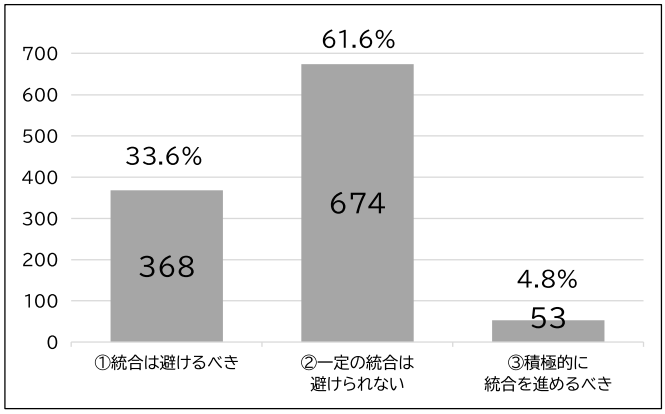


《市別の状況》

	①地元	②地元以外	③三重県内	④県外	⑤海外	⑥いつかは戻ってほしい	⑦ 本人の希望次第	⑧ 特に考えはない
伊賀市(人)	53	16	6	36	8	39	372	58
伊賀市の回答者数(588人)に対する割合	9.0%	2.7%	1.0%	6.1%	1.4%	6.6%	63.3%	9.9%
名張市(人)	42	3	6	31	2	28	360	33
名張市の回答者数(505人)に対する割合	8.3%	0.6%	1.2%	6.1%	0.4%	5.5%	71.3%	6.5%
合計	95	19	12	67	10	67	732	91
	8.7%	1.7%	1.1%	6.1%	0.9%	6.1%	67.0%	8.3%

13　現在、伊賀地域には県立高校が5校配置されており、1学年あたりの学級数は合計25 学級規模となっています。今後、伊賀地域でも少子化が進み、15 年先の令和 21 年度には合計 11～13 学級程度になることが見込まれる中、5校を維持すると各学校の小規模化が進むことから、本協議会では今後の伊賀地域の県立高校の配置のあり方について検討を進めています。このことについて、あなたの意見に最も近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

①　統合は避けるべき　②　一定の統合は避けられない　③　積極的に統合を進めるべき



《市別の状況》

	①統合は避けるべき	②一定の統合は避けられない	③積極的に統合を進めるべき
伊賀市(人)	202	358	30
伊賀市の進学希望者(590人)に対する割合	34.2%	60.7%	5.1%
名張市(人)	166	316	23
伊賀市の進学希望者(505人)に対する割合	32.9%	62.6%	4.6%
合計	368	674	53
	33.6%	61.6%	4.8%

14　質問 13 の①～③を選んだ理由や、今後の伊賀地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

①　統合は避けるべき

【伊賀市】　（131 人が回答）

◎学習面に関する内容

・それぞれの学校の特性などはなかなか統合できないのではないか。同じ学科や同じ学力の学校が統合するのは良いが伊賀市はただでさえ少ないのに統合可能は無理ではないか。
・それぞれの高校の特徴から、将来的に就きたい職種が決まっていれば専門的に学べる学校。まだ決めきれてないのであれば、普通科。と、いった各学校の特性から、統合は避けるべきではないかと思う。もし、統合となるのであれば、普通科と総合学科が両方ある高校にしていった方が、よいのではないかと思います。
・リモート授業を取り入れて、子どもの学びの範囲を拡大させてほしい。可能性のある子どもたちなので、高校ひとつひとつの垣根を越えて学べるスタイルもよいのではないか。例えば、今日は〇〇高校の〇〇の授業と、▲▲高校の▲▲を受けようなど、子どもが選び、進んで学べる学校になればよい。もちろん、人と人が集まりコミュニケーションをし、そのスキルを高めることも大切である。
・学力や専門性など今の高校のままのほうが良いと思う
・伊賀市と名張市の距離。学びの内容がそれぞれ違う為。
・子供達が学びたい科を選択できるようにしてあげて欲しい
・個々の学力や進路への道は様々かと思います。少子化によって効率ばかりを重視するよりも、多様性や能力を大切にするために地域や国の方針こそ考える必要があると考えます。
・統廃合は大反対。　その高校でしか学べない事がある。　高校と公共施設(公用車の車庫、図書館、備蓄倉庫等)を合体させるなどして残してもらいたい。　高校は地域の活性化や交流に大きな役割がある。
・自分の進路に向けての選択肢の視野を広げ落ちついて学べる学習環境を整えてほしい。
・人数が少なくなっても、専門的な事を学べる学校、進学するために勉強を進めていく学校と選択肢があった方がいいと思います。
・現在は昔ほど高校を選べる時代ではないので学科などが片寄りすぎての統合となると将来への方向性が修正出来なくなる。交通手段(バスや電車)距離や金額にお金がかかりすぎると行きたい学校ではなく、とりあえず…の高校選びになってしまう。統合ではなくクラスの縮小などを考えてもらわないと伊賀地域に住めなくなる。伊賀地域外の選択をとるのが無難な時代になる
・伊賀市には上野高校、白鳳高校、あけぼの学園がありますが、それぞれ進学校、技能習得校、小規模校とバランスが良いからです。小規模校である「あけぼの学園」はその特色が評価されてか伊賀市で唯一、志望倍率が 1.0 倍を超えており、子供や保護者からの支持が高いことが分かります。子供の教育に対しては効率を重視するのではなく、地域や子供の要望をしっかりと聞く必要があると考えます。
・一般的に就職進学が不利になりそう（工業だと就職進学がしやすいが総合学科だと就職しにくいイメージ）

◎学力に関する内容

・ある程度学力の揃った生徒の学校にしたほうがいいと思います。差がありすぎると上の子は一緒にされたら嫌と思います
・それぞれの高校で特色や学力の違いがあるので統合は難しいのではないかと思います。

・それぞれの偏差値などもあり、学ぶ事も異なり安易に統合は避けてもらいたい。また、多様な学びを維持するためにも、今ある高校の閉校などは避けていただきたい。
・レベルが違う学校を統合しないで欲しい。
・学力に差があるので、統合は難しいのではと思う。
・学力に差が出る、そのため本人の希望するところに行けなくなる。本人が希望する学部に入れない可能性が高くなる。選択肢がへる。
・学力の差があること。学ぶ内容がかたよること
・高校をいっしょくたんにするとレベル？頭の良さ？全くちゃうと思うし、高校を減らしたら全員が合格すんのか、って言うたらそんなことは無いと思うし、自分が高校で学びたいコースがあるかどうかも高校を減らしたらどうなるかわからへんと思う。
・少子化に伴う学級数の減少は避けられないと思いますが、統合してしまうと学校内で学力の差が大幅に生じると思います。学びたい子が学べなくなる環境は避けたいので、各学校は小規模になっても維持していただきたいです。
・色んな学力の子供がいるなか、統合し過ぎると高校に行けない子供がでてくるのではないのかと不安になる。統合した場合、どういった高校の仕組みにするのかどんな学科があるのか…など早く知らせて欲しい。
・これ以上の統合は子どもの選択肢を狭め、学習意欲も無くします。上野高校入学の難易度は、20年前に比べ大変低下していること落胆しました。名張の子は津や奈良方面に通いやすいですが、伊賀地域は他市へは通学が大変です。上野高校の学力が落ちることは、これから受験する子どもにとっても目標が低くなる。長い目で見て地域全体の学力や能力を伸ばすならば、高校の難易度は一定以上必要です。
・現在ある高校はそれぞれの個性があり、学力別にも適正だと思います。白鳳高校と青峰高校ができた今、これ以上の統合はふさわしくないと考えています。
・能力、特性に応じた高校が減ることで、悪い意味で全体のレベルが揃ってしまうので、これ以上の統合は避けていただきたいです。「勉強を頑張りたい人が行く高校」「勉強が苦手な人が行く高校」が明らかで良いと考えます。
・現在も各高校でそれぞれ特色があり、さらに統合が進むと各学校のカラーが変わり、子どもたちの選択肢が逆に狭まる気がする。また、校内の学力にも差が出てしまい、学力の低下に結びつかないか心配。
・統合により同一学級内の学力差が大きくなると、本人のレベルにあった授業を受けることができくなるため。
・学力のレベルを上げてほしい。　　・教育レベルの低下の恐れ。

◎学校生活・部活動に関する内容

・あけぼの学園高校の先生方が生徒に親身に寄り添って、これから先の人生を心配して指導頂いているのを、存じ上げています。クラス数が少なく、1番閉じやすいという理由だけで統合してしまっては、高校へ行けなくなる子供達が出るでしょう。また、高校を卒業しかねる子供達も増えるでしょう。伊賀地域は広くて、今の数であっても、通うのが大変な方々はいらっしゃると思います。また、高校であったとしても、不登校がおきる時代です。学級の人数を減らして、クラス数をある程度維持し、先生方が生徒にもう一歩密に関われる環境があっても良いのではないでしょうか。経費はかかるのですが、結局、納税出来る様な子供を育てるには、現代においては必要な事だと思います。
・それぞれの学校の特性を生かして、規模は縮小しても、学校統合は避けるべきだと考えます。
・それぞれの高校の特徴、色が違いすぎるので、統合はしてほしくないと感じる。
・それぞれの高校の良さや伝統、方針も違うので統合は避けて欲しい。そして子供たちの選択する機会を減らしなくないです。

・それぞれ校風や生徒の目指す進路先が違うため、統合するとその良さがなくなってしまう。規模を小さくして、現状を維持するべき。
・各学校において特性が違うため
・各高校に特色があるため統合することで特色が失われてしまうのではないのか。
・今ある　それぞれの学校の校風、雰囲気、特色を大事にしてほしい。
・統合すると一人一人に目が行き届かなくなりそうな気がする
・統合すれば各学校の特徴がなくなる(立地場所や高風など)
・統合を進めることによって生徒数が増え、一人一人としっかり向き合うことが出来なくなるのではないか。や、子供の選択肢が狭められるのではないかなどの懸念がある。また、通学に時間がかかるなど子供への負荷がかかってくるのではないか。とも思う。統合することにマイナスなイメージしかないわけではないが、人数が増えることへのサポート体制をしっかり行い、統合のメリット(保護者や生徒の)などを保護者や生徒へ共有して欲しい。ここしかないからこの高校へ行く。ではなく、この高校に入りたい！と思えるような学校作りを行って欲しい。
・例えば、伊賀にある３校、それぞれの高校の色がまったくちがうため、人数が減っても統合するべきではない。

◎学校規模（人数）に関する内容
・少子化が進むからと言って一人一人の個性は様々なので、行きたい高校がないとなると伊賀地域に住み続ける魅力自体がなくなってしまいそう。少人数で学ぶメリットを重視する人は案外多いと思う。
・学校だけが大きくなって　生徒の人数も多くなって　ちゃんと　一人一人見てくれているのか心配。
・一学年の人数が減っても統合するのではなく、高校の数は減らさないでほしい。統合しないほうが今以上に手厚い教育が受けられるのではないか、そして高校を選ぶときに選択肢が多いほうが自分に合った高校を見つけることができるのではないか。統合すると通学の距離もかなり家から遠くになる子も増え、そこから色んな問題に繋がっていくのではないかと考えます
・少子化だから高校を減らすべきという前提と、1 学級 40 人であるという前提に疑問があります。ひとりひとりが授業や活動や議論に参加できる適性規模ではない。クラスの人数が多すぎるので、没個性でもやり過ごせる環境。クラスの定員を減らして、学校数や学級数を維持してもよいと思います。少子化だからって財源に応じて統合や縮小を基本路線にするのではなく、少子化だからこそ、どうやって質の高い教育を提供できるか、知恵とお金を使うべきと強く思います。
・積極的に統合をしてしまう事で規模を縮小されてしまうと、人気の科に一極集中してしまい、倍率や偏差値が上がって、結局最終進路決定で諦めてしまう事になると可哀想だと思う。
・統合ありきの質問事項（Q10）があり、残念だ。アンケートとしては不親切だと感じる。ひとりひとりの学びを考えるとき、一校の学級数は重要なのか。それよりも、1 学級の人数に注目するべきだと考える。世界的に見て 1 学級 40 人は多くないのだろうか。きめ細かな教育は実現できない数字だ。1 学級の人数が 40 人と決まっているのであれば、三重県だけでも先進的に人数を減らし、個人の能力をより発揮できる環境を整えて欲しい。

◎学校選択に関する内容
・高校の数が減ると学校の特色や通学の距離、受験倍率など様々な観点から進学の幅が減ると思う
・学力、特色、さまざまな選択肢は多い方がいい。ずっと同じメンバーというのもいろいろ問題だと思う。
・各高校によって、学力や特色が違うので、その魅力を残しながら子ども達が選べる選択肢がある方がありがたいです。
・それぞれの子どもが、行きたい、学びたい学校を、少しでも多く選べるという環境にさせてあげ

たいと考えています。
・子供が自分が学びたくて行く高校であるのにが田舎であるがゆえに好きな高校を選択出来ないとか選択肢がないというのは可哀想。
・伊賀、名張で高校が少なすぎて選びたい学科が少なくなり、将来の選択肢が少なくなる気がします。通学もバス、電車の本数が少なく通学するのに大変不便に思います。すべての高校からスクールバスがあれば良いとは思います。
・いろんな子どもがいる中で、自分に合った高校を選べるように、選択肢が一つでもたくさんあった方がよい。選べる高校が少なくなれば、地元を離れてしまう子どもが増えていくと思う。少ない人数で丁寧に子どもと関わってくれている高校があると思うので、高校の数は現状維持でお願いします。
・これ以上、選ぶ高校が少なくなるのは可哀想
・これ以上地元での進学先の選択肢が減るのは子どもたちがますます伊賀地域外に出て行ってしまう
・せめて今の現状であるか、増やして欲しい。
・それぞれの学校の特徴を活かして、選択出来る学校があると良い。
・それぞれ学校の特色があるので、人数が減ってもその子に合った学校を選んで欲しいので統合や廃校は出来るだけなくして欲しいです。
・それぞれ高校には特色があると思うので、子供たちには選択肢は多い方がいいと感じるので統合は避けて欲しいと考えます。ただし少子化で生徒数があまりにも少ない学校になってしまうのであれば、多少の統合も仕方ないとも思います。
・やはり地域にたくさんの高校があると、自分で選ぶ事ができる。ここしかないというのとは違い選択肢が増えるから。距離が遠くなると通学に負担がかかり部活動が制限されてしまうから。
・伊賀市内で行ける高校が少なすぎて選択肢が少なすぎるから。美容などの専門的な事を学べるあけぼの高校がなくなる事に反対です。
・伊賀地域から今までの高校が無くなれば子どもが入れる高校が無くなってくるため。
・伊賀地域の人口のほとんどが後期高齢者で、少子化はこれからも進むと思われるので、できればこれ以上子供達の選択肢を減らしてほしくないです。
・伊賀地区の県立高校に行きたい場合、選択肢が狭まるから。
・各学校によって特色が違うので、子どもたちの選択肢を減らさないでほしい。
・各学校の特色や特化している部分をのこしてほしい。子どもに選択肢がより多くあるほうが良いと思う。
・現在中学 3 年生の子供もいるので高校進学を考える時期なのですがこれ以上、高校を決める際の選択肢が減るのは避けたいです。他の地域の高校に進学となると通学時間や駅までの送迎など親子共に負担がかかります。
・個々の能力や希望する進路、または学校生活で希望するものが何通りかあるのに、学校が統合することで選びにくくなる。親としてはなるべく県立に行ってもらえることがありがたい。
・高校を選ぶにあたって選択肢が少なくなってほしくないから。
・今でさえ伊賀市名張市の高校が少なすぎて選ぶのも困難の中、これ以上減らされると高校に通う生徒が減るかもです！
・子供の数が減っているのは分かるが、子供の選択肢が減る。合同してしまっては、専門的な勉強ができる時間が減りそう。
・子供の選択が狭まるから。人数が少なくてもその分一人一人に目が行くと思うから。
・子供達の選択肢が少なくなるようなことはしてあげたくないです。学力の差を考えても、統合ばかりしていてはどちらの子にとっても良くはないと思います。
・少子化が急速にすすんでいるが、子どもたちの選択肢が減ってしまうことに対して、少し不安がある。個々の生徒に応じた学びができるようにしてほしい。

・少子化が進む以上統合されるのは仕方ない。ただ、今現在でも選択肢が少ない上にこの先もっと高校が減るのは厳しいとも思う。結局出来る子か出来ない子かの二択になり、そもそも選択肢がないのは可哀想だと感じます。伊賀地域の県立高校自体にあまり魅力がなく、他地域の私立に流れる子供が増えるのではないか。高校の学費無償化も早く実現されればと思います。
・少子化のことは分かっていますが、いろいろな校風を選べる選択を持たせてあげてほしいと思います。あけぼの高校は少ない人数ですが、そこがいいと思う所もあります。もう少しこのまま、校数はそのまま残してほしいと考えています。
・進学先の選択肢が減ると伊賀地域外への進学を希望する子が増え、通学の不便や通学費用が重み、家庭の負担が多くなる。
・選べる高校が少なすぎてかわいそう。住所を移さなくても奈良や愛知などの高校にも行けるようにしてほしい
・選択できる自由を減らすのはどうか。少人数でも続けられる国、県への補助の要求が必要
・選択肢がなくなるため、高校は多い方が良いと思う。
・選択肢が少なくなるのは嫌だから。ますます伊賀地域が過疎化していくと思う。
・選択肢が無くなるから、統合は、さけたほうが、いいと思います。
・選択肢を狭めたり、競争率を高めるのは、本人の意欲を下げる。
・地元の学校の数が減ることで伊賀市名張市外の高校も選択肢に入ることになりさらに地元の生徒数が減少するから
・統合があっても仕方がないと思うが、伊賀・名張地区は高校の選択肢も少なく子供達を不憫に思います。出来るだけ選択肢を残していただきたいです。
・統合し、高校が減ることで子ども達の将来の進路が狭くなる。進学できない子ども達が増えないか心配。電車で通学するにもお金と時間がかかる。大人の都合で子ども達の進学先を１番に無くしていくのは　おかしい。将来この学校で　専門的な事を少しでも学びたい　と思っている子ども達の夢を潰してしまう。　教員の方も転勤や退職せざるを得なくなる。　結論　統合は反対です。
・通学のしやすさ、ある程度の選択肢から選べる方が良いので一定数の高校は欲しい。
・統合することで多様な選択肢が少なくなるから
・統合することによって選択肢が少なくなったり、入りたい学校に入れなくなることも考えられるので、子どものことを考えると統合はあまりしてほしくないと思います。
・学校を選ぶ選択肢が無くなってしまう
・子どもの選択肢を減らしたくないため
・高校の数が減ると選択肢が減るから
・統合統合では選択肢が狭まるから。
・高校を選ぶ選択肢が少なすぎる
・子どもたちの選択肢が限られる
・いける高校が少なくなる
・選択肢が少なくなるから
・統合すると選択肢が減る
・選択肢がなくなる。
・選択肢が狭まるから
・選択肢が少なくなる
・選択肢がなくなる
・選択肢が減る
・選択肢が減る

◎通学に関する内容

・ただでさえ、今の伊賀地域の選択率がかなり低いのに、これより少なくなると遠くに通うしかなくなるため、通学にかかる費用や時間が莫大になる。成績によっては、選択率が余計に減るため、家計的に高校にかよわせられなくなりそう。
・伊賀に住んではいるが、上野まで行くのは少し時間がかかる。統合した場合、もし名張の高校に行くとなれば、随分通学に時間がかかるので。高校が統合し、数が減ると困る。
・伊賀名張地域の高校が少なくなると選択肢が減りどうしても遠くの高校へ行かなければならなくなる。そうすると通学時間が長くなり子どもに負担がかかる。やりたい部活動などがある場合 通

学時間のことを考えると出来なくなるのではないかと思う。
・家の近くから高校がなくなるから
・近いところの学校がなくなると、通学に不便になる。統合して減ると人数が集中するため、伊賀市内の学校に入れない場合にすごく困る。遠くなるほど、親に負担がかかる。
・現状でも通学可能な高校が少ない、さらに統合されるのであればほぼ選択肢が無くなる
・三重県下の他地域からみても、伊賀は交通の便が悪いことから短時間で行ける高校が少なく、地域内の選べる高校も少ないので現在のままの配置を継続してほしい。
・実際兄弟が名張と伊賀の高校に通っています。名張へはバスで通学していましたが、定期もかなり高額で、伊賀の高校に通う子は自転車ですが 10 キロ近くのアップダウンを毎日通学しています。これが統合して更に通いにくくなることを心配しています。
・通いやすい場所に学校がなくなると、通学に時間をとられ、何をするにも効率が悪くなる。
・通学にでんしゃなどあの公共交通機関を使わなくては通えないというのは家庭や地域と疎遠になる気がする
・通学の時間が長くなったり、進学先を選ぶ際に子供の選択肢が少なくなることが心配だから。
・学校が少なくなると、選択肢が少なくなり、通学が大変になることが懸念される。
・小規模化が進むことは仕方ないことだと思いますが、高校の選択肢がなくなることは避けてほしいです。ただでさえ通学に不便がある高校ばかりなのに、これ以上減ってしまうと、何処にどうやって通学していいのか解りません。
・選択肢が少なくなる。通学時間や送り迎えが大変になる
・選択肢の少なさや立地に偏りがある。通学に時間はかかってもいいが、通学手段が少なすぎる。

◎地域に関する内容
・統合することで子どもたちの高校の選択肢が減ることや伊賀管内の高校はそれぞれ特色がある高校ばかりなので、子どもたちが県外、市外に行かず、伊賀へ残りたい！と思えるようなまちづくりをしてもらいたいです。伊賀市はサッカーに力を入れていること、陸上も強い高校があること、どちらも強豪校にすることで街の活性化に繋がり、地方からも人を呼び込むことができると思います。高校を減らさざるおえない少子化になっているが、そうじゃない地域もあると思います。高校を減らす選択肢の前になにか対策はないんでしょうか。
・伊賀地域の県立高校が統合され少なくなると確実に伊賀地域外に行く子供が増える。そうすると、その後の大学進学や就職など、伊賀へ戻る人材が減り、伊賀地域の人口の減、若者のいない高齢化が進むのは目に見えてあきらか。
・伊賀白鳳に統合後、これ以上の削減、統合は地域の衰退になるので避けて欲しい
・今後、県立高校の新設は財政上考えられない中、現在ある高校がどこにあるかという位置の問題が重要である。県内を大都市への一極集中型にするのではなく、分散型にすることで、県内全体の教育条件を高め、それぞれの地域の活性化を図るという考え方が必要。「学校」という存在が学校教育だけではなく、人口が減っていく中、地域をフィールドにした生涯学習社会教育の拠点とすることが県民生活的に重要であり、地域の切り捨てにつながることはあってはならない。
・統合すると地域格差が起き一部の地域で過疎化が進み統合後の人の移住が見込めないようになり再起不能状態になる。まず統合の話を出す前に人口を増やす知恵を手に入れるべき。成功例はいくつもあり、伊賀市の利便性や土地柄、空き家バンクなど方法はいくらでもありそちらから話をしていくべき。とくに伊賀市は移住に関しての話が少ないと思う。聞こえてくるのは統廃合等の話ばかり。統廃合はいつでも出来る。でもある程度の統合は仕方ないと思うがまずは移住していただける方にお金を使うべき。

◎その他
・残してほしいが、いずれなくなりそうだと思う

・少子化が進んでいくのは仕方がないが、それを原因にして統合等進めるのはどうか。
県立高校だけが統廃合するのはどうか、私立高校はそれほど定員が減っていない、それならば私立高校も定員削減をしていけばどうか。定員削減が難しいので有れば、県立高校は定員を維持をして私立高校は学校の内容なので勝負していけばどうか。県立高校は地域の利便性も考えていって欲しい。統廃合の為に学校が遠くなったりするのは、保護者の負担が増えてますます大変になる。中学校 3 年生になって、私立高校に専願で行けるぞと肩を叩くのもどうかなと思う。
・統合した場合、廃校になった校舎はどうするのでしょうか？そのままにするんですか？最近、保育園か幼稚園なのかそのまま残って酷い状態になっています。草も伸びきって、木まで大きく育っている状態を見ました。また、壊すにも費用がかなりかかるのではないでしょうか？再利用するにも維持費がかかるのであれば、なんとか 5 校でも残してもいいんではないでしょうか？
・統合するのではなく廃校はどうか
・特にありません

【名張市】　（112 人が回答）

◎学習面に関する内容

・「ただただ統合」というのはやめて欲しい。まとめたらいいということではないと思う。もっと個々(個性)に重点をおいた高校での学びをお願いしたい。
・それぞれの高校で目指す目標や専門知識の習得など様々なのでこどもには選択肢が狭くならないように高校は減らしてほしくない
・各学校の専門分野をいかしてほしい
・高校の数が少なすぎる。専門のコースに進みたい場合、名張 1 校しかなかったら伊賀市の子供が通うのが大変。また、人数も限られると思うので、進みたいコースに入れない子供がでてくるのでは？名張市から伊賀市に通うのに電車だと時間がかかる。通学バスを出してほしい。
・進学校は統合せず残すべきだと思います。県内の他の地域からも進学したいと思えるよう、指導内容を魅力あるものにしていただきたいです。専門コースに分かれる学校は統合もやむおえないと思いますが、伊賀に配置すると、名張市民は県外への通学を選択しさらに少子化が進むと思うので、できれば名張に学校を配置すれば良いのではと思います。
・人数が少ないとわからない事も聞きやすいのではないか。合併するとそこの学校で習いたかった事も学べなくなるのではないか
・市内でも距離的な選択肢が狭まる上、統合により学力的にも差が出たり、学科コース等充実しなかったり、やりたい方向性が見い出しずらそうで問題があるように思う。
・地元にいても学力や、専門性等個々に応じた学校を選びたいです。
・学校により、校風や生徒の雰囲気がかなり異なります。そもそも進学を希望する生徒が多数の学校と、就職を希望する生徒が半数以上の学校など、統合するべきではないです。現在伊賀地域の普通科が主の高校は、上野高校と青峰高校だと思いますが、どちらの高校も通学するには不便な場所にあり、もしどちらかの高校へ統合となると、通学方法や時間で伊賀地区での進学を諦める家庭も出てしまうと思います。

◎学力に関する内容

・１人、１人の学力の差がある為、統合は、避けた方がいいと思います。
・ある程度、学力別の県立高校としての配置を望む
・これ以上統合されると、学力が低い子でも入れそうな学校が減るか、入れそうな学校にレベルの高い子も受験して、学力が低い子が入れなくなる可能性がある。私立に行かざる得なくなるのは困る。現に今でもそのような感じになっている気がします。勉強するしかないし少子化で維持するのが大変なのも解りますが、もう少し公立の選択肢が増えるか、交通費の補助などを増やして

もらえれば、選択肢が増えるのかと思います。
・それぞれの学校に特色や適正があり、学力も様々であるため、少子化の理由だけで統合することには賛成できない。
・それぞれの学力に合わせた学び方が出来、校風や活動内容で選べる事がのぞましいから
・各学校の特色が目立たなくなりそうだから。学力の差が大きくなりそうだから
・学校のレベルがわからなくなるし、目指す学校がわからなくなるから
・学力に応じて学校を分けた方が良いと思います。
・学力の差が学校内で大きくなること。それぞれの学校の特性が薄まること。子供の選択肢が狭ってしまうこと。
・既に選択する高校が少ない中、これ以上統合をすると、個人の学力差等で学校自体の偏差値の低下に繋がるのではないでしょうか。家庭の都合で近くの学校に通いたい子もいるとおもいます。通学の金額の負担や、通学時間の子供の負担も出てくると思います。
・個々の能力・学習意欲などを考えると、統合には賛成しかねます。
・人によってレベル（学力）が違うから、統合してしまうと、その人の学びの妨げになると思う。将来がある子供達には、その子に合った学びの場を作ってあげておかないと、日本の未来にも影響がでると思う。
・統合したら偏差ｔ理や学校のレベルが下がる恐れがあるので。上野と名張青峰はそのままの方が良いと思います。
・統合により、伊賀名張地域の高校の学力レベルが下がることが不安。今ある高校の、それぞれの良い特色が活かされなくなるのではないか不安。
・学力の差が大きくなるから
・学力や校風は統合できない
・倍率があがると入試が大変。だんだん家から遠くなる
・あまり統合で減らし過ぎると、倍率が上がってしまい、入試が難しくなるので。

◎学校生活・部活動に関する内容
・それぞれの学校の特性がなくなってしまうとおもうから
・各学校による特色があるので、生徒たちが選択できる道がほしい
・各学校の特色がなくならないようにすべきだと思う。統廃合はしないで欲しい
・学校事の特色が失われる
・現在の学校の特色がそれぞれ違うので、それを統合するべきではないと思う。少子化になるのであれば学級数を減らす方向の方が良いと思います。
・小規模だからこそできる決め細やかなサポートをしてほしい。
・統合せず、出来れば、個々の学校の個性を活かし現状維持をして頂きたいです。

◎学校規模（人数）に関する内容
・子供の数が減り、単純に学校を減らすと、先生や学校運営に関わる人の働く場所がなくなるという問題も出てくるので、全ての学校が１学年 2～3 クラスになるまでは統合せずにそのままで良いと思います
・教室が狭かったので、１学級の人数を 35 人ほどに減らして、３、４クラスがちょうど良いのではないかと思います。

◎学校選択に関する内容
・いくら少子化といえど、これ以上少なくなると子供たちの選択肢がすくなくなり、希望の進学ができなくなる。通学時間も不安。進学は、それぞれの学校のもっている指定校等を進学先に募集する人数が増えてしまうと競争率も激しくなり親子共に負担。

・これ以上高校が少なくなると選択肢が狭まってしまう。
・ただでさえ、学校が少なく、選ぶ候補がないのにこれ以上減らされたら　進学できない子もでてくると思います！上の子達も通学が大変でした。
・各校の校風があると思いますので、多様な選択肢を子どもに与えたいです。ただ、各校の維持費用の問題も出てくると思いますので、統合されるのであれば高校内で多彩な選択肢が用意されていてほしいです。
・学べる学科、その学校による特色がなくなったら、選択肢が少なくなるから。ここしかない！じゃなく選ばせて上げたい。
・県立高校が少なるなると、選択肢が狭くなり、私立高校への入学も視野に入れないといけなくなるから。
・県立高校の統廃合が進むと本来希望していた高校への進学が叶わなくなる事もある。私立の無償化が進んでいない三重県において、県立高校選択肢の減少はとても厳しいも思う。
・現在でも高校の数が少ないし、統合してさらに少なくなるのは困る。高校の選択肢が少ない？
・公立高校に行って欲しいので、今より選択肢を減らして欲しくないです。
・高校に進学を希望した子が等しく教育を受けることができる機会を与えられるような高校での教育を望みます。そして統廃合がより進むことで、より狭き門とならないことを希望します。
・今でも選べる学校が少なすぎる。選択肢をもっと増やしてほしい
・今までも少ないながら各学校で特色があったと思うので、減らすと子どもの選択肢が少なくなり過ぎると思う。遠い所まで選択肢として見ないといけないのは通わせるのに色々と大変だと思う
・今現在でも高校が少なくなってきているので、統合されると更に選択肢が少なくなり、学びたい学科、コースなどがなくなっていくから。
・今後統合されると選べる選択肢が減って行くことで、自分の学びたい分野やコースが選べなくなったりし、通学が困難になってしまうことが心配です
・子ども達にとって選択肢がある方がいいと思うので、あまり統合ばかりになるのは賛成ではない。
・子供の人数が少ないのは理解できるが、統合ばかりしていては選べる高校が無くなってしまうから。
・子供の人数は減っていくが、子どもたちの選択肢を減らさない様にして子どもに合った学校選びができるようにして欲しい
・子供の人数は減っていて、統合も致し方ないのかもしれませんが、自分の子供は学力に自信が無いのでその点で高校の選択肢がさらに減る気がするのが心配です。
・私たちの時代からも高校数が減っており、選びたくても選べないような状況の中、これ以上減ってしまうとどうしても距離が遠くなったり、学校の校風やイメージで選びたくても、学力に応じたところならここしかないなぁと選択肢がなくなってしまうと感じるからです(> <)昔のように桔高か西校か同レベルな高校を、校風や距離で選べた時代が本当は理想です(> <)子供の数が減っており仕方ないですが、選べないのは可哀想だなぁと強く感じます。
・色々な視点からの選択肢が減るように感じるため
・身近に選べる学校が少なくなると困ると思うからです。
・進学先が地域に減ってしまったら選択肢が減ってしまうから。小規模になっても今の数を維持してほしい。進学重視の学校も必要だけどもっと専門職な学科も増えて高校在学中にも資格が取れたらいいなと思う。少人数だからこそできる事をやって欲しい
・選べる高校が少なくなるのは受験で困ると思うから。
・選択肢が狭まるのは避けたい。通学にかかる時間がふえるのは、負担と思う。
・選択肢が減ってしまうことと、距離が遠くなる子供が多くなるから。
・選択肢が減ってしまう事で、自分の能力に合っている学校が選びずらかったり、身近に無くなってしまう。
・選択肢が減る事はその他の地域に目を広げなければいけなくなります。そうなれば通学時間、費

用面でも負担が大きくなります。
・選択肢が少なくなることで、通学にかかる時間にしても、学力の面でも、無理をしたり合わせなくてはいけない部分が多くなりそうな気がします。なるべく個々にあった選択ができるように統合は避けていただきたいです。
・選択肢が少なくなると将来や大学の進路が狭くなるのではないか。
・選択肢が少なくなるのと、通学距離が遠くなる可能性もあるので経済面でも不安になります。専門性の高い高校が統合されてしまうと、学びの内容が薄くなると思います。
・地元での高校進学の選択肢を無くさないでほしい
・地元での選択肢が少なくなってしまう事が困ります。
・地元で進学したい子どもの、学校の選択肢が少なくなってしまうのもどうかと思います。少人数でも、今のまま続けて欲しい。
・通学できる範囲内で、小規模になっても学校の選択肢ができるだけ多くあった方が助かります。
・通学のことを考えればバランス良く配置されていることが望ましい。各校それぞれに歴史や特色があり、選択肢はへらすべきではない。学校を統合するのではなく、１クラスの人数を少人数で編成すれば、先生やクラスメイトとの交流を深めることにもつながる。
・通学時間や費用の負担増の心配と、それぞれの学校の特色が失われ、選択肢が狭まることの心配。
・統合が進むと高校の選択肢が少なすぎるため
・統合することのメリットもあると思いますが、選択肢が狭くなることが懸念される
・統合すると、行きたい高校が無くなってしまったり、高校を選ぶ選択肢が減ってしまう。伊賀方面になると通学が遠い。
・統合すると選択肢の幅が狭くなる、場所も遠くなり通学が大変になる場合がある、特色が薄れるのではないかと思います。
・統合する事により、選べる学科数が減り子供の選択肢が減るから
・統合により、名張市内での選択肢がなくなり１つになるのは厳しいと思う。人数は減っても子供にある程度の選択肢を与えてあげたい気はします。
・伊賀地区には高校が少なく地区外に出ることも選択肢として広く与えていきたい
・現在でも学校が少ない為
・統合は在校生に負担が大きすぎると思います。新入生にとっても選択の余地がないのは可哀想です。少なくなればなるほど通学時間も増え、交通費も増えます。なのでこれ以上高校の数が減るのは反対です。
・行きたい学校の選択肢が狭まるから。
・選べる学校が、少なくなるから
・統合すると選べる学校数が減る
・高校の選択肢は多い方が良い
・選択肢を減らして欲しくない
・高校選択肢が狭くなる為。
・選択肢が少なくなるから
・選択肢を増やしたい
・選択肢は必要。
・選択先が減る

◎通学に関する内容
・これ以上減らしたら伊賀地域で子育てするのは無理です。地域が成り立たないと思います。高校の授業料が無償化されても交通費は上がる一方です。通えないから進学を諦めねばならない家庭も出てきます。伊賀地域から中堅世代が一掃されてしまいます。
・伊賀地域の高校の統合が進み、これ以上伊賀地域で選べる公立高校が減ると、ますます将来伊賀地域に住むという選択肢は無くなって行くのではないでしょうか？伊賀市と名張市は、行き来するには電車もバスも不便ですし交通費も高く、家計への負担も大きくなってしまいます。とはいえ、津市などの他市への通学よりは、やはり家計の負担は軽いので助かります。今はそれぞれの学校が特色を活かしていて、各校の色がありますので、統合でその色を無くしてしまうのは残念に感じます。

・家から近い場所に統合された高校があれば良いが、無い場合は通学費の負担が大きく歳が近いきょうだいが複数いるので困ります。統合するのもひとつの案かもしれませんが、負担額が増えることや、通学に時間がかかるような事になるのは困ります。
・学生生活を送る上で、通学時間や交通手段等の環境は大切だと思う。更に本人の志望や学力も考えると、これ以上選択肢が少なくなる事は子どもたちの可能性をせばめることにつながりかねない。少子化の時代だからこそ、教育環境の充実を優先的に考えてほしい。
・県外と比べると自宅から通学可能な学校が少ない為、（選択肢が少ない）統合はあまり積極的に思えません。少子化とはいえ、現学校数を維持してもらえたらと思っています。
・県外の高校に通うのは親も、子も大変なので、統合は避けて欲しいです
・交通の便がわるい。選択肢が少なくなりさらに不便である
・地域によっては通学が不便になる。学力の差が激しくなる。
・通学が遠くなりそうだから
・通学に時間がかかるのは、負担が大きいと思うため。
・通学に不便な地域がでる。学力差が高校でも出過ぎる。
・通学困難は本人の行く気も続くか不安。経済的にも難しい
・統合することで、通学が大変になる学生が増えると思う。それぞれの学校に特色があるので、統合してその特色を全部兼ね備えた学校にするのは難しいと思う。
・名張から伊賀の学校に通うのは、時間や伊賀線への乗換、運賃等がネックになるので、私は、名張にある学校から選びたいと思うので、これ以上名張から高校がなくなって欲しくないです。
・名張市民なので伊賀まで通学は避けたいです。電車や降りてから学校までが遠いので通学が大変そうなイメージです。出来れば名張市の方に高校を戻してほしいです。
・例えば伊賀市に統合が集中してしまったら、名張市内から通うのが大変になる。選択肢が狭まる

◎地域に関する内容
・桔梗高校の統合により地元の活気は大きく損なわれてしまった。同じ過ちを繰り返すことがあってはならない。記憶や歴史が安易に失われることがないようにしてほしい。

◎その他
・実際私が高校生の時に大規模な統廃合の動きがあり、卒業校が無くなるという経験をした。表向きは近隣校との統合だったが、実際は校舎はその近隣校、校名も近隣校の名前のまま。卒業証明書を取りに行くのも難しく、教育実習を受け入れてもらえなかったという声も聞いたことがある。私自身は不便だったことはないが、卒業した学校が跡形もなくなってしまった現状は悲しく、在籍時も先輩も後輩もいない環境がとても寂しかった。子どもの数が少なくなっているので統廃合せざるを得ない状況は理解できるが、統合ではなく廃校からの新設校がいいように思う。そして廃校となった学校の事務手続き（各種書類発行等）は新設校ではなく県ないし市（県庁、市役所など）で行えるようにしてあげてほしい。また、統合・廃校する場合はその学校の同窓会（OB・OG）との会話を必ずしてほしい。実際私の卒業校には同窓会寄贈の建物があったが、なぁなぁにされ結局買取などの措置もなく卒業生誰もが入れなくなってしまっている。面倒と思わずに話し合って皆が笑顔で子どもらを見守れるようにしてほしいと思う。
・母校が無くなるのは嫌だから
・今のままで良い。

② 一定の統合は避けられない

【伊賀市】 （158 人が回答）

◎学習面に関する内容

・統合は避けられないと思うが、今ある各校の特色が無くなってしまうのは残念。特色を残した学科を作り学内で進学クラスや専門職クラスなど分けて個々の希望に応じた学習が出来るようにしていければいいのでは。
・統合は仕方ないが、伊賀市にも青峰みたいな普通科がほしい
・統合は、仕方ないことだとは思います。学校数が減り、尚且つ行きたい学科やコースがないと言う状況は避けたいと思います。行きたい学校がなければ、私立や市外の学校を選択せざるを得なくなります。通学も負担にもなるし、通学費用もバカにはならないので、どんどん、伊賀、名張では行きたい学校が正直ないというか 魅力がないというか‥
・統合するのは良いとしても、今現在専門性の高い学科などは統合先でも引き継ぎされる事を望む。
・統合したとしても選択できるコースが充実していれば問題ないと思う。
・統合したとしても子ども達が自分のやりたいことを見いだせる環境はなくさないでほしいです
・統合したとしても、選べる学科は無くさないで欲しい。
・全く統合しないのではなく、普通科や総合学科など選べる環境は必要だと思います。
・専門分野は残してほしい
・専門コースがあることはメリットでもあると思うので、専門コースを維持できるような統合が必要であると考えます。
・人数縮小は避けられないため、高校側で特色ある内容のコースをもうけるなどとし、統合しても魅力ある高校にしてほしい。
・人数が少なくなっても、しっかり自分の力を着けて将来なりたい方向にすすんで行ける教育が受られたら統合してもいいと思います。
・進学校と専門学科、各市に１つずつで良いのではないか
・進学校（進学コース）や就職向け資格取得できる学校などいろいろな選択ができるようにしてほしい。とくに進学コースは学力を維持するために人数を制限してほしい。
・進学を目指す普通科のような学科は必要かと思います。そのような高校が伊賀と名張に１校ずつくらいの配置がありがたいとおもいます。また現在の伊賀白鳳高校やあけぼの学園高校のような、特別な支援が必要な生徒や外国人生徒をふくめ、誰１人取り残さないことが考慮されることを期待します。英心のような私立高校も一つの選択肢ですが、金銭面などを考えると県立高校が必要かと思います。
・上野高校は進学のイメージ。名張青峰や亀山みたいに就職にも力を入れたらいいと思います。反対に白鳳に普通科があればよいと思います。入学時歯まだ進学しようか就職しようか決まってない子が多いと思うので、そうしたらあけぼのはなくなってもよいと思います
・少子化なので統合は避けられないと思う。高校の選択肢が減るのであれば多様なコースなどを設置して、高校のなかで方向性を決められるようにしたらよいと思います。
・少子化なので統合は仕方ないが、子供それぞれに行きたい進路を選べる考えられる未来へと繋げていける道がある高校はあって欲しいと思う。これしかないから、この学科を選んだではなく、したい事、やりたい事選べる自由がある学校はあって欲しい。
・少子化で一定の統合は避けられないと思うが、各校の特色ある教育や子どもたちの学びの意欲や機会がせばめられることのないようにいろいろな意見をきいて充分検討してもらいたい。
・少子化が進んで、統合が避けられないとしても、専門的な学科などなるべく残してもらいたい。
・少子化が進み一定の統合は避けられないとは思いますが、子供達が「学びにくくなる」ような統合は避けて頂きたいと思います。特化した学科の維持（何もかも一緒にしてしまわない）通学距離なども検討していただければと思います。
・小規模すぎる学校では多様な学びが保証されず、また友達とのコミュニケーションも固定化され

るため、質のよい学びや成長が期待できないと思う。
・子供の数に合わせて学校の数を減らすのは必要なことだと思いますが、小規模になった後も変わらない教育や指導を望みます。
・子供の人数が少ないのであれば多少の統合は避けられないと思うが、学校が少なくなると子供が学びたい学科がなくなるではないかと思うので、それは避けていただきたい
・子供が少なくなって運営も難しくなると仕方がないと思いますが、専門のクラスが減るのは子供の将来を狭めてしまわないか不安でもある。地元の高校に通うメリットがなくなる。
・高校進学時点でその先の進路が変わることも学びの中であると思うので、様々な進路が高校生活内(2 年生の時点で選べるような)でも選べるようなクラスがたくさんあってほしい。進学コース、就職コース、スポーツ推薦など。
・高校の規模が小さくなれば、学科、コース、部活の選択肢もなくなるため、少子化による一定の統合は避けられないと思う。
・学科について、各校の【普通科(進学コース推奨)】の授業内容が漠然としており、定員割れしやすい(入りやすい)点から受験する生徒が多いように感じ、進学より就職率の方が高い印象がある。それならば、各校の特色を活かした専門学科で資格が取れた方が助かる。
通学、学校の小規模化について、少子化の問題で一定の統合は避けられないと判断しましたが、その場合、電車・自転車通学では無く、スクールバスを運用する考えはどの程度あるのでしょうか？地域の生徒は好悪天候でも徒歩、自転車通学をしている子をよく見ます。(家庭の事情で送迎が出来ない等で止むなく上記の方法でしか通学出来ない子がいると思います)統合され、通学距離が増えた家庭への配慮はどこまで考えていますか？長期休暇中の部活動も徒歩、自転車通学が推奨されるのでしょうか？
・伊賀は選べる高校の選択肢が少なくて以前から不満に感じていました。今後統合したとしても、学びたい事を学べるように選択肢がもっと増えて学びの視野が広がる高校環境を切に願います。
・ここまで少子化が進んでいる以上、統合は避けられないと思う。大学進学を主とする学校と専門的な知識、技能や資格取得を主とする学校の二極化とせざるを得ないのではないかと思う。
・②と回答しましたが、専門的なコースばかりではなく普通科を減少せずレベルを選べるようにしてほしい。また名張、伊賀のどちらかに偏るような統合はしないでほしい。
・どこだけ。どの学部だけ。一時的な人気取りだけ。にならなければ統合には賛成です。統合してお互いの学校を良いところを伸ばし子供達の学力向上に努めていただきたい。
・確かな学力が身につけられれば統合してもいいと思う！専門科があれば視野が広がり将来なりたい物を見つけるきっかけがつくれるので学校によっての偏差値とかではなく伊賀市内であれば勉強をする校舎と専門を学ぶ校舎といったように、今の高校で例えると上野高校では勉強を学ぶ場所、白鳳高校では専門の勉強をする場所といったように一つの高校に入学して授業内容により場所を移動して行うとより充実して学べるのではないかと思う。
・統合はせざるを得ない状況となればしたかないが、進学校とそうでない高校は分けて考えた方が良いのではないかと思います。また個人的な意見でありますが、上高はこの先も残っているといいなと思います。
・少子化なので仕方ないと思う。でも普通科ではなく総合的な学科ばかりになったらどこも同じがと。何で学校を選ぶ？偏差値でふりわけ？

◎学力に関する内容
・①阿山方面にも高校作って欲しいです。白鳳高校学力の差がひどそう。白鳳高校と上野高校の間の学力の高校が必要だと思う。②どこに関しても交通機関の少なさが酷い。有料でいいのでスクールバスなど出して欲しい。
・ある程度の統廃合はやむを得ないが、現状、各学校はそれぞれの学力レベルやニーズの生徒の受け皿となっているため、各生徒のニーズや学力レベルを考慮の上、実行すべき。上位校の学力の

低下が過去に比べ著しい。
・学力が近い学校は統合しても良いと思う
・学力と学校の特色を明確にしつつ、同様であれば統合しても良いと思います。
・学力や進学について統合することでマイナス部分があるのであれば必要はないと感じる。メリットがあれば仕方ないと思う。
・高校の選択肢が減るのは辛いが、継続が難しいのなら仕方ないと思います。減る場合はどの高校に入学しても、本人の学力に合った教育が受けられるようになったらよいと思います。
・子どもも減ってきている為、統合するのは避けれないと思う。ただ、統合した事で、同じ学校でも、子どもの学力差などももあると思うので、統合するなら、しっかりした学校の方向性を示して欲しいです。
・人数が少なくなれば、統合も致し方ないかと思いますが、統合によって、学力の低下や、逆に伊賀地域では入学出来ないという事のない様にして頂きたいと思います。また、通学距離が長くなる地域もあると思うので、その点も配慮して頂けたらと思います（交通費の補助や、スクールバスの様な物があればいいと思います）
・統合できる部分は統合して一定水準の学力をつけるようにクラスわけで少クラスわけで対応するようにするといいのではないか?
・統合によって、学力レベルが下がるのではないかと心配です。
・統合は最小限にして、クラス数を減らす方法を取ってほしい。学力がそれぞれの高校は違うから。部活動は合同の形をとるのはいいと思う。
・本来は高校それぞれの目的、目標、あり方が違う学校を統合して学力や本来の学校のあり方を維持出来るとは思えない。学力がそれぞれの子供たちが同じ学校で、それぞれの未来、目標が達成出来るのか？少人数でも統合は難しいと思う。でも、高校の数を維持するのも難しいと思う。
・生徒数が減り学級数が減るのですべてを統合するというのは生徒の学力の違いが大きくなりすぎることが心配。ある程度の統合は避けられないかもしれないが選択できる数はあったほうがいい気がする。

◎学校生活・部活動に関する内容
・どんな高校であっても、ひとりひとりが大切にされ学びやすい場所であって欲しい
・子どもたちの今後の数が減少することは明らか。統合は避けられないと思います。統合するだけではなく、その分今よりもより教育環境や活動などが増えればいいなと思います。
・私自身が伊賀市出身であることから伊賀市で育ってきた若者が築いてきた高校、イメージ、風潮は壊したくない気持ちがある。特に城下町にある上野高校のカラーは強く、残って欲しいと思う。通学時電車やバスの乗り継ぎは本数も少なく、不便さを感じる。先輩ママに聞いても交通費の面や結局送迎の方が早いということも聞く。スクールバスなんかがあれば選択肢に離れた高校も子どもに進めやすい。また、学食なんかもあれば毎日の親の負担が減り離れた学校への登校もしやすいのではないか。
・少ない人数だと新たな友達との出会いがないかもしれない。これから社会に出ていく上で考えると色々な人間と出会うのは成長に繋がると思うから。
・少子化が進んで、統合は仕方のないことだと思うのですが、通学、学力的な事もあると思うのですが、みんなが楽しく登校出来る学校にしてほしいです。
・少子化だけでなく、ネット社会で人と関わることが減ってる今の状況なので、たくさんの人と直接関われる状況は貴重だなと思います。高校がそうゆう場になればいいなと思います。
・少子化なので、子どもの数が減っているので仕方ないと思います。一学級の人数を少なくするのはひとりひとりにきちんと向き合ってもらえそうで良さそうかな。
・少子化なので統合はしかたないことだと思います。子どもたちが楽しく学びの場があればいいかと思います

・人口推計を見ると統合もやむを得ないかと思いますが、あけぼの高校がなくなると行き場を無くしてしまう子どもたちが多数出てしまう可能性があります。統合するのであれば、現在のあけぼの高校の機能を他校で担っていただきたいです。
・生徒数が少ないと先生の目も行き届き生徒も身につくと思います。けど反対に友達作りは難しくなると思うので　ある程度の統合は仕方ないと思います
・他地域からも選択肢に入るような特色と地元からは他地域行かなくてもいいと思える統合などであれば
・統合が仮にあったとしても、先生方の配置であったり、ひとりひとりにきちんと教育の目が行き届いて、今よりも良くなる方向であれば良いかなと思います。
・統合することでより良くなるならばそうして欲しい
・統合する事で、一人一人に目が届くのかなど心配。生徒間も先生と生徒間も、人間関係は薄い関係になりそう。
・避けられないのかも知れないが、まだ統合を決定するには早い。話題の「いがまち」の高校。歴史ある高校をそんな簡単に無くそうなんて、本当に人数が少ないからなのか？そこが良いところでもあるのに。その学校を必要とする子どもたちがいることを忘れないでほしい。大人は将来を担う、個性豊かな子どもたち一人ひとりの為に、居場所を残すことを考えてあげてください。
・各校の１学年の人数が減りすぎると、文化祭や体育祭などの行事もこじんまりとし過ぎてしまったり、部活動なども各部の適正人数を維持できなくなり、活動が危ぶまれたり、部の種類自体が減ってしまい、中学までとは違い多様な部から好きなものを選択し参加できる、というこれまでの状況から変わることが懸念され、勉強以外の学校ならではの行事や部活動も楽しんでほしいと思っているため、各校の人数を減らさないようにするためには、校数自体を統合し減らすことは避けられないと思っているからです。
・高校生活では、ある程度の人数の中で生活しないと、自分以外の人間を認める・見極める能力が身につかない。やりたいことと同時に、他人（意見が合う人、合わない人）を受け入れる機会をなるべく失くしたくない。
・高校生活は勉学だけではなく、友人との出会いや部活動のやりがいなども重要となる。生徒数がある程度いた方がより活発な高校生活が送れると思うため、高校の小規模化は残念であり、統合は避けられないと感じる。
・少子化で統合は避けられない問題であると思います。コミュニケーションや学ぶ機会を増やすうえでも、少人数ではなく、多くの学生の中で学んで欲しいです。
・人数が少ないと経営面でマイナスになるので統合はやむを得ない。送迎バスを出すなりして対応する。授業の内容を学生主体にする等、この高校に行きたいと思える様な内容する。

◎学校規模（人数）に関する内容
・ある程度人数がいるからできること、盛り上がることがある。充実した内容も少人数のために出来ることに限界があるのではないでしょうか？
・できる限り統合は避けてほしいが、一学年３クラスを切るようであれば統合もやむを得ないと考えている。
・なるべく維持してほしい。しかし少子化で学生数が減ることは防ぎようがない。多く高校を残し少数で学級を組むよりは、ある程度多勢の中で、多様な考えがあることを学びながら育ってほしい。
・ひと学年の人数が少ないのは、お互いを分かりあえる利点もあるが将来を考えた際に、広い社会の中での社会性が身につくのか不安もある。ある程度の学級数が保たれるのが望ましいと考えているので、学校の統合は仕方ないところがあるのではないか
・一定人数の中で学ぶ環境が大切だと考える。部活動など色々な時間を充実させてほしい。統合され学校数が減る分、学校内での様々なあり方、居場所をそれぞれが見つけられるようにして欲し

い。
・各学校それぞれに特色はあると思うが、統合できるところはして、ある程度の学級当たりの人数を維持して、たくさんの級友たちとの出会いをもって欲しいから
・各学年１学級の高校を何校かに分けるのなら統合したほうがいい。この地域の少子化はもう止められない
・学級数が少なくなりすぎないようにしてもらいたい。
・小規模化が進んで統合をするか否かの選択が来ると思います。部活や団体行動の中でたくさん学ぶことがあると思います。人数が一定数に満たないと、やりたい事も出来ないと思います。可能性をつぶさない為にも一定の統合はさけられないと思いました。
・少子化が進むけれど、友達との出会いや繋がり、大学への進学は妥協したくない為、ある程度のクラスの人数は必要だと思う。
・人数がいないと、学校自体がなりたたないので、ある程度人数を集めるためには、統合も仕方ないと思う。
・人数が減ってくると、規模も小さくなり、活動の幅が狭まってくるのではないかと思います。
・人数が少ないと部活や行事、その他やりたくても選択肢が減ってしまう。通学手段がなく、諦めざるとなるのでは。子どもの人数が減るからといって学校を減らせばいいとはいかないと思う。
・人数が少なすぎると学びについても狭い世界になってしまうので、ある程度の人数を維持するには統合は必要だと思うので
・人数が多い方が、活気や刺激があるから、統合した方がいい様に思う。
・多様な選択肢があった方が良いが、学校の適切な規模を考えれば、統合はやむを得ない。
・なるべく、学力等で振り分けてほしいと思うが、少子化により学生数がさがるのは致し方ない。そうなれば、人数が少なすぎる中で育つよりは、なるべくいろいろな考えがある中で育つほうが好ましいと思うから。
・理想は伊賀地域に 5 校以上の高校があり、各レベルや高校の特色によって、子供が行きたいと思う高校が通学1時間以内くらいにあるのが、ベストだとは思うが、子供の人数が減っているのに、各々のレベルや特色に分けると、一緒に学ぶ相手が減ってしまうし、実際無理だと思うから。高校から下宿等で、自分のいきたい高校を選ぶしか無いのかな。と思います。
・維持費、教員数など考慮すれば、避けられないと思う。結果、高校から市外への進学する人も増えるとは思うが伊賀にこだわる必要はないので個人的には問題ないと思う。
・少子化を考えると一定の統合は避けられないと思います。ただ、魅力ある学校づくりをお願いします。
・少子化が進む中、生徒数が減少すると、学校運営も深刻な問題となってくると思います。たた、高校の選択肢が少なくなると子供達の迷いも生じると思います。

◎学校選択に関する内容
・以前に比べ高校数が今でも減っているため、上の子の高校進学の際に選択肢が少なく感じていた中で今以上に減るのは本当は避けたいところですが、致し方ない面も間違いなくあると思うので。
・伊賀地域では選択が少ないのこまる
・一定の統合は避けられないかもしれないが、子供の選択肢が減るという事であれば、伊賀地域では学習しにくいと判断して今後選択肢の多い他所の地域に出る事も考えていくと思う。
・学生数の減少で一定の統合は避けられないと思いますが、子供の進路の選択肢のために、なるべく現在の配置を維持してほしいと考えます。
・高校を選ぶ選択肢を減らさないで欲しいから。
・少子化が進んでいるので仕方ない面はあるかと思いますが、子どもが将来の事を考え高校の選択をする時、選択肢がある方がいいと思います。
・少子化であり一定の統合は仕方ないが、子ども達にとって、選択肢が減るのはつらい。

・少子化については避けられない問題であるが、できるだけたくさんの選択肢が残るようにしてほしい。
・少子化によるクラスの減少は必要かと思うが、学校数の減少は、選択肢が減り残念に思います。
・少子化は全国的に深刻であることは間違いないため統合は仕方ないと思う。ただ、こうなると伊賀地域から若い子たちがどんどん県外に流れて行ってしまうためそうならない様に高校もある程度選ばせてあげるぐらいにはあってほしい
・少子化を考えると仕方のないことだと思います。ただどこかで線引しないと、子どもの選択肢が少なくなってしまうのではないかと思ってしまいます。
・選択肢が少なくなるのは困る。
・統合することで子供達の選択肢が狭まらないようにしてほしい。
・統合は避けられないと思うが、統合された内容によって、選択肢が広がり近隣の高校（他市）に流出しそうです。現状でも、高校の選択肢が少ないので行かせたい高校がない。他を検討している。

◎通学に関する内容

・1. 統合することにより、通学時間がかかる＝送迎が必要となると、子どもも負担だと思いますが、親の仕事や日常生活にかなり負担がかかるので、学校まで子どもが自力で通学出来ないと困ります。統合するなら、子どもが自転車で行ける範囲内の家の近く（大山田）から、バスで高校まで通えることを切に希望します。
2. 移住者ですが、伊賀市で子どもが自力で通える高校の選択肢が少な過ぎて、驚いています。車がないと最寄り駅まで行けないので、津市などの高校に行かせたくても、家庭や仕事の状況的に送迎が不可能で、残念に思います。所要時間や乗り換えなどを考えると、毎日伊賀神戸駅まで送迎出来れば選択肢は増えるとは思いますが、難しいです。伊賀神戸駅まで送迎されている親御さんもいるようですが、負担だと思います。大山田など、近くに駅がない地域は、駅までバスを出してもらえないでしょうか。伊賀市・名張市内の高校が統合されるなら、必ずお願いします。アクセス出来ないことによって、子どもの将来の可能性が減ることはあってはならないと思います。
・各地域、公共交通で一時間の範囲に 2 校ぐらいはあってほしい。
・交通の便が悪く、伊賀市内の高校に通う選択肢はあまりなく、できれば近鉄沿線で通学を希望しています。
・高校は伊賀、名張市内にと考えています。選択肢が少ないのは希望ではないですが、子供が少ないのなら統合は避けられないのではと考えています。駅近、駅が遠いならバスなど子供の力で通える配置で考えていただきたいと思います。
・子どもの数が減少していくのはわかっているので統合は仕方のないことだと思う。統合により学校までが遠くなることも考えられるので、スクールバスなど安全な通学方法も考慮してほしい。
・子供が少なくなる分一定の統合は仕方ない。しかし、登校に時間をかけるのは良くないので、登校時間何分以内、距離何キロ以内など、一定の規則を決め、オンライン授業など ICT を駆使しながらむやみに統合を進めるのは良くない。
・市内より離れた場所に居住地がある子供は通学方法に問題があり、通わせられる高校がどうしても限られてしまいます。高校の配置より通学方法の選択肢をもっと増やしてあげられたら良いのではないかと思います。
・少子化が進み、統合することになってしまうことは避けては通れなくなるかもしれませんが、それによって伊賀地域内でもより通学時間がかかってしまい、伊賀地域から離れた高校へ通ったりする子も増え、伊賀の学校から離れてしまうこともあるかと思います。子どもたちの充実した高校生活を送れるために色々と課題があると思いました。
・少子化のため統合は避けられないと思うが、学校の場所は駅の近く(徒歩 20 分程度)にあるのが

望ましいです。普通科が伊賀市内に１つしか無いのも厳しいです
・少子化への歯止めはきかないためいたしかたないと思います。子の通学費がかかるため伊賀市内の高校への進学しか希望していません。したがって伊賀市内での高校の充実しか望んでおりません。
・人数が少なくなっているので、統合は仕方がないと思いますが、伊賀市に住んでいるので、できれば名張まで通学しなくて済むように、高校の選択肢は残してほしいです。
・生徒数が減るならば、統合もやもえない。が、通学のしやすさ、安全を考えると交通の便が悪い学校への集約は賛成しかねる。
・鉄道の駅の近くなど公共交通機関で通える場所にあってほしい。駅から遠くて遠距離を歩かないといけないのは負担が大きい。
・統合は避けられないとは思いますが、通学に時間がかからない様に公共交通機関の整備をお願いします。
・偏差値が同じような所や、辺鄙な土地にある所は交通に便利な場所になればいいとおもう。少子化が進み田舎の過疎化は避けられないので、仕方がないと思っている。
・利便性の良い立地を望みます。学校内でいろいろな学科があると選択しやすいと思います。
・子どもの数が減る中で現在の学校数を持続させるのは難しいと思う。学力や学習内容に応じて数校に統合されるのは仕方ないことだと思うが、通学にかかる時間や費用については偏りのないよう支援して欲しい。

◎地域に関する内容

◎その他
・伊賀市はレベルが低いので、どうなろうと変わらないと思う。

【名張市】　（118 人が回答）
◎学習面に関する内容
・それぞれの学校の立ち位置を分担してほしい。進学校、職業系、学力低い子どもの受け皿みたいに。進学校でも、成績の開きがかなりあるので、どちらにあわせるかにも困るので、上位層の進学校、中堅の進学校など、役割をもつといいと思う。
・各学校の多岐にわたる学科は、選択する上で個々に合った学びを受ける事が出来るので継続して欲しい。が、少人数により経済的負担が増えるのならば統合も仕方ないのかとも思います。
・高校を卒業後に進学を希望、就職を希望など各々が希望する道に進むことが出来る高校を伊賀地域内に残してほしいです。
・子供の人数が減り統合は避けられないと思うが、学力の差や専門的なコースを設けている学校の特色を活かした配置を考えてほしい。
・子供の人数が少なくなれば学校数も当然変わって当たり前だと感じています。学校数が少なくても１つの学校内で進学コース､就職コース等選べることができればそれで良いと思います。
・少子化が進み、予算の確保が難しくなっているので統合することはいいことだと思うが、市外・県外にしか学びたい学科がある場合、地元から離れなければならないという選択肢しかないので、伊賀地域の高校でいろんな学科があるといいかと思います。
・少子化が進む中、学校学級数減少、統合は避けられないと思う。今後ますます人口減少が加速する中で高校ではいろんな特色ある学びができたら良いと思う。あけぼの高校では美容資格試験に繋がる勉強が高校入学後の最短で出来るのは良い例かと思う。高校再編していく中でいろんな資格や勉強ができる高校があれば良いのでは。英語（留学ができる等）に特化する←英語科の配置？、美術（アニメーションを学べる等）、スポーツ、観光等各学校各分野に特化していくのは他地区

から生徒を呼び込むのにも良いかと。かといって、我が子にはしっかり高等教育を受けて欲しいので、今後（大学進学）に繋がるような教育をしっかり受けれる多人数高校はしっかり確保して欲しいところです。。

・少子化で統合は仕方ないが、個人の得意分野を伸ばせて、社会に通用する教育をして欲しい。
・生徒数や維持管理費を考えると一定数の統合は仕方無いことかも知れませんが、その結果、選択学科の減少や教育の質が落ちないかが心配です。
・通信制や定時制の充実も含め、伊賀地域で、学びの選択肢が増えるように、協議してほしいです。
・統合することで、生徒が多ければ、ある程度先生の確保や設備購入などを確保することがしやすいと思う。たくさんの先生が確保できれば、生徒が先生を選ぶこともできるし、合わない先生がいてもストレスが分散できると思う。かと言って、むやみやたらに統合しすぎても、生徒の人数が多いと個別に対応する学びをすることが難しくなる。だからある程度統合して、さらに、学力を高めたい普通高校と、多様性・個性を伸ばす高校に分けたらいい。学力を高めたい高校はある程度統合して生徒を多くして、まとめて授業をする。多様性・個性に合わせて学ぶ高校は中～少人数制の高校にする。多様性・個性に合わせた学校も、手がいるので、ある程度の先生の人数も必要になるが…。勉強を続ける学校と、勉強以外のこと・仕事につながる学び・将来につながる学びをする学校と住み分けしたらいいと思う。人数に合わせてて 2～3 校にまで統合してよいと思う。
・統合することで学びが深くなることや、良かったと全体的に感じないと賛成できない
・統合することで得られるメリットもあり、より専門的な教育が受けられるなら問題ないと思う。
・同じような専攻や同じようなレベルの学科がある学校は合併しても良いと思う
・普通高と専門的なことを学べる学校は合併せず専門知識を得れるような学校はおいててほしい。
・名張市にも伊賀市にも進学校を 1 校ずつ残して欲しい。
・中間レベルの子が行ける学校を増やして欲しい。そして子供たちが学びたいと思うシステムの学校にして欲しい。また就職や進学に強い学校でありながら先生の人間性も兼ね備えてるところとなって、他市からも来るくらいの学校になれば伊賀地域での就職者も増えて人口も増えていく循環動体を組み立てて欲しい。閉鎖的でなく開放的な地域にしていかなければ過疎化は進む。
・今現在、それぞれの学校の特色がはっきりと分かり、進みたい方面のイメージがわきやすいかなと思います。が、色々見てからでないと進路は決められないとも思います。なので、一つの学校に今よりもたくさんの学科やコースがあると選択肢が増えてよいかなとも思います。

◎学力に関する内容

・ママ友の噂話レベルなんですが今年名張高校に落ちた子が定員割れの青峰に進学した、と噂で聞きました。名張育ちの私からしてみればこんなことあるのか？と。上野も最近学力が落ちてきていると言われてます。少子化は避けられないのなら統廃合も避けられないのでは？
・学力に応じて、どの子も通いたいと思える学校があることが良いと思います。
・学力の差により高校を選ぶ中で、勉強をして来た子とそうで無い子の差は開く一方です。そんな子を一同に同じ高校に進学する事は、双方にデメリットでしか無くその先の進学に影響が出そうで気がかりです。ですが少子化の問題を考えるとそうも言っておれません。例えば就職と進学で高校を分けて、その中でも国立文系、理系、私学文系、理系と学科を細分化するなど。大まかな目的で就職と進学は分けるべきだと思う。
・国や地方の財政を考えると一定の統合はやむを得ない。しかし、学力の差がある者が同じ教室で学ぶ弊害もあると思う。伸びる能力がある者の能力が止まってしまうから。富裕層は私立に行けばよいが、そうでない者は公立に行くしかない。能力別クラス編成により対応できるなら、統合もよいのでは。
・国公立大、有名私立大に進学希望の高校（津高的な上高）と、偏差値 50 程度の普通科的で、F ランくらいの大学進学希望の進学を考える高校と、（青峰、名張の統合）高卒で就職できる様にス

キルを身につける高校（白鳳とあけぼのの統合）とに明確にわける
・今現在でも受験時に定員割れをしている学校が大半で、すでに受験の体を成していない。全入だと子供の勉強に対する意識や意欲も薄まり、結果この地域の学力がどんどん低くなるのでは？地域外や私立に進む子も増えている現在、受験者数に見合った定員を設けるべきだと思う。
・今後少子化が進み、統合することはやむを得ないと考えます。しかし、教育レベルはある程度現状を維持してほしい（レベルは落として欲しくない）、または現状より良くなってほしいと考えます。統合しても今より良い教育を受けることができるならば、統合万歳だと思います。
・少子化であれば高校の数を減らすことは仕方ないと思う、もっと偏差値の高い高校が伊賀地域にあればわざわざ時間とお金を使って津まで出なくて済むと思う。
・少子化に伴う統合については避けられないと思うが、あまりに学力が違う、進路が違う等の交わらない部分を一緒にしてしまうと、すべてが悪い方向にいくように思うので、ある程度は学校で特色を持たせた方が良いと思う。
・統合するにしても学校間のレベルを統一できるのであればが前提になると思います。
・統合は致し方ないが、偏差値の低下は避けて欲しい
・統合は避けられないが、コース分けなどして学力差をつけていくしかないかもしれない。人数が少ないと、部活や文化祭などが縮小してしまいそう。
・偏差値を下げてまで学校を統合したり、電車賃が高かったり、廃線の心配や地域的な不安が大きく、そうなると安心な県外へ子供を出し、大学もその流れで決めて行くことになります。まずは偏差値をしっかり保ちこの地域に根付いた学科を増やし子供の確保を長期に渡り考えて実行していかなければいずれは廃校へと進んで行くと思います。

◎学校生活・部活動に関する内容
・その高校によってイメージや特色があると思うので全てを統合する事は望ましく無いと思う。ある程度の学力がある高校は今のまま残す方が良いと思う。
・教員も少なくなってると聞きます。1 人の仕事量を減らして、穏やかな気持ちで子供達と向き合ってもらいたい。教員も家族があり私生活も充実してもらいたい。
・最低でも 2 クラスを維持してもらった方が、いじめとか人間関係がこじれた時に生徒間の距離をとる対応ができると思います。そうなると、一定の統合は致し方ないのかと思います。
・少子化の今、高校の統合は当然あるべきことだと考えますが、教育の質を落とさないように、また、生徒数が増えることで、一人一人の個性や自主性がないがしろにされないよう、きめ細かな対応や配慮をして頂くため、教員数は今まで以上に増やして頂きたいです。
・少人数だと、行事が成り立たないため
・人数が多い方が色んな人との出会いや、行事等で人手が多い事で出来ることも増えると思う。勉強も大切だが、経験値を増やしたり色んな経験や刺激等を感じる機会が増えてくれるとありがたい。統合した際には先生も通常より多めにおいていただき、先生の仕事の負担を分散させ、先生方がより生徒ひとりひとりに目を配れる環境を作っていただけると安心して通わせられそう。
・統合して、ある程度の人数の教職員で、余裕をもって教育活動を行ってほしいので。
・統合を避けるために学級数が少なくなれば人との出会いや経験がしにくくなるのでは…と思うから。
・部活動の維持が出来る程度の学級数の配置
・さまざまな人たちと関わり合って育ってほしい。
・楽しい高校生活を送るためにはある程度の人数は必要。進学コース、普通コースなど学力別にクラス分けをして統合するには賛成である。
・少子化が進む中で少人数で学ぶメリット、デメリットがあると思います。しかし、高校においてはその先社会に出て行くことも考えある一定の人数の中で学問だけでなく、人との関わりも学んでほしいと思います。そのため一定の統合は避けられないと思います。しかしその統合に関して

も伊賀地域は交通の便なども考えて名張の子供が伊賀へ、伊賀の子供が名張へ通学するには時間と交通費の負担があります。配置については選択しやすいように、また通学に関しても負担に感じないように駅に近い、公共交通機関の利便性なども考慮してもらいたいです。

◎学校規模（人数）に関する内容

・１学校である程度の人数の同級生がいる方が、学校生活が豊かになると思います。
・5 校を維持できれば一番良いですが人数や財政を考えれば統合は仕方ないと思います
・ある程度の人数の中で、学校生活をおくってもらいたいので、今後、ある程度の統合は仕方ないかな、と思う。その時は、通学しやすい様に、バスなど、交通手段を整えてほしい。
・一つの学校にある程度の人数が必要だと思うため
・学校数を維持することで、一校あたりの生徒数が減る事になる為、出会いや刺激の減少、活気の低下が懸念される。加えて必要な教職員数も多くなる為、教員不足が更に深刻になり、かえって教育の質が低下するのではないかと思ってしまう。
・希望としたら 5 校維持ではありますが、過去の各学校の統合内容で、小規模になった場合のマイナス面の改善がある様子だったので、避けられない場合もあるという事にも、理解を持っておく必要もあるのではないかと思ったので選びました。
・教育の質や部活動等、小規模では難しい所もあるのであれば仕方ない。
・少子化が進んでいる現代ある程度学級を確保するには、ある程度統合することも否めないと思います。
・少子化の中一定の統合は避けられないと感じるのは、予算や教員の確保、教育内容の充実、地域との連携を図る上で、一定の規模が必要であろうと想像するからです。ただし、もし統合を避けられるならば、地域活性の意味でも、学校独自の新たな特殊性を打ち出し、他地域からも通いたいと思えるような魅力的な学校を既存の学校から新たに新生できれば、それに越したことはないと考えます。
・人数のことを考えると致し方ないことだとは思うが、なるべく学級減少に留め現在の学校は維持してほしい。
・生徒がたりなければ仕方がない。
・生徒の人数があまりにも少なくなる場合は統合をしてもよいのではないかなと思います。
・通学に時間が掛かる生徒も出てくると思うから一概に統合に賛成は出来ないけど各学校の生徒数が少なくなるので有れば統合も避けられないのかなと思います。
・普通科やそれに類する学科についてはある程度の人数を確保して多様な出会いがある方が良いと思いますが、専門的な学科については少人数できめ細かな教育を目的にしても良いと思います。いずれにせよ教育目的や少子化の実情に合わせた統廃合は避けられないと思います。
・勉強や部活動、様々な活動において一学年のクラス数は多い方がいいと思うので。
・子どもの数だけで統廃合を検討したり、学級数を決めたりするのではなく、各学校の特色や良さが維持できるために必要な学校数・学級数・教員の配置を考えていただきたいと思います。伊賀地域で少子化が進むのは目に見えていることではありますが、それに合わせて伊賀地区の学校数や学級数を減らしていくと、各学校の魅力が失われていき、ますます伊賀地区の県立高校は地元の中学生から選ばれなくなっていくのではないでしょうか。そして、高校が近くになくて子どもの通学に不便だとなれば、さらに伊賀地区に住みたいと思う人が減り、ますます伊賀地区の人口減少が進むという悪循環に陥ると考えます。
・今でも他地域に通ってる子が多いと感じるので学級数が減るのは仕方ないと思う

◎学校選択に関する内容

・5 校ぐらいの選択肢はあった方がいいと思うが、実際の子どもの人数からそれは無理そうだなと思うため

・伊賀は奈良や滋賀にも近いので、選択肢はあると思います
・県立高校が少なくなると倍率が上がり入学したいのにできない子は増えないのか？高校卒業後の進路を考えて受験する時に普通科ばっかりしかないとか専門科ばかりしかないなど、偏りがないようにしないと子供達の進路に影響が出ると思う。
・自分の適正にあった学校が選択しづらくなる
・少子化が進むので、統合は避けられないと思うが、各市に２校づつくらいはないと、選択肢が少なくなりすぎる。５校→４校になるくらいは、仕方ないと思う。
・少子化が進む中一定の統合は避けられないとは思うが、伊賀地域で選択する高校が減れば他地域へ流出してしまうことも懸念されるので悩ましいところではある
・少子化で一定の統合は避けられないとは思いますが、5 校からさらに少なくなると、選択肢が狭くなる事を不安に思います。自宅から出来るだけ近くに、選択肢を狭めずに進路を考える事の出来る事を望みます。交通費の面でも負担が少なくなる事を望みます。
・人数が少なくなれば統合するのは仕方ないと思いますが、近いところに高校の選択肢が減るのはすごく嫌だなと思います
・統合したことによって、高校に入れる枠が減ると困ります。高校には行かせたいので
・統合して高校数が減ると選択肢の幅も減ると考えますが、あまりにも人数が少なく、学校を維持するのが厳しい場合には統合も避けられないのかな、と思います。
・少子化の為、統合となることがやむを得ないと思いますが、子供の希望する学科や通学距離等、選択肢が減るのは残念に思います。
・本音としては統合は下げて欲しいと思います。なぜならば通学のしやすさやいろんな特色のある高校を選べる方がいいと思うからです。少子化を急に止めることはできないと思いますが、選べる選択肢があるというのも子供達にとって、また伊賀地域の魅力にも大切なことだと思います。

◎通学に関する内容
・それぞれが特殊性を活かした高校を作れば目的に応じた洗濯ができる。伊賀と名張に分散してしまうと交通の便から津市へ通学する学生もいるから通学しやすいようにする必要がある。伊賀と名張の通学の運賃が高いので送迎バスなど作るなど考慮も必要か。
・伊賀、名張から通いやすい場所に配置してほしい。
・伊賀線だと本数が少なく乗り換え時間もかかる為、名張で検討して欲しい。
・運営が成り立たなければ統合は避けられないかもしれませんが、あまりにも遠くなると帰宅時間が夜間になり危険が及ばないか心配に思います。通学距離が遠くなる子にはスクールバスなど安全に通学できるよう対策してもらえると安心です。
・駅近が良いと思います。
・高校がどちらかになるのは仕方がない。だけど、名張←→上野のアクセスが悪い。通学料金が高い。そこを改良してほしい。
・人数の関係から統合することは致し方無いと思われますが、学力の関係から家から学校が遠い場合の通学費の補助や学校規模が小さくなったからといって教員数の極端な削減が無ければよいと思います
・選択できる高校が多い方が良いとは思いますが、子供の数が少ないという理由での統合は仕方ないのかなと思います。通学が大変になる子供が増えるのであれば、スクールバスを導入してほしいです。
・通学時間を考えて配慮して頂きたい。徒歩で 40 分以上の場所は通学バスなど出してもらわないと子供も親も負担が大きい。
・統合は避けられない問題だとは思いますが、それによって通学に時間がかかってしまうと子どもたちの負担が増えるのではないかと心配します。朝早く、帰りが遅くなると睡眠不足に陥ったり、自主的に趣味や学びに時間を費やしにくくなると成長に差し障りがでないかなと思います。選択

肢が減ることはやはりあまりプラスではないので、できれば国内の留学制度みたいに、全国から受け入れられるような体制を作ってもらうのも面白いのかなと思います。
・統廃合は仕方ないが通学時間がかかり過ぎるのは子供に負担になると思う
・名張、伊賀に関しては交通の便が悪すぎる事がとても不便に感じます
・統合するにしても偏らずに均等な場所にしてほしい。

◎地域に関する内容
・物理的に考えて、維持するためには統合となるだろう。ますます教育難民になる見立てがたつため、公立の選択をとる家庭が減るだろう。そして、県立は総合的に質低下、他府県との格差が広がるだけ。田舎の典型事例ですね。中学から受験を考える家庭は少ない地域ですが、全国と比較すればこれ自体がもう変わる。来たるべき公立教育格差拡大を避けるため、引越しを検討すらしています。子供が幼児の時から覚悟はしていましたが、今選択肢が限定されるのもここに住んでいるからという単純な要因なので。
・高校の魅力も含めて、まちづくりと合わせて考えていく必要があると思う。市外からの移住の促進など、魅力ある住みたいまちづくりが、そこでの子育て、進学につながっていくと思う。
・少子化の波は避けられないが、地元に学ぶ場所が無くなるのも困る。

◎その他
・なるべくなら、統合してほしくは無いけど、仕方ないと思います。
・バランスよく統合すれば良い（位置関係の意味だけではない）
・伊賀地域に県立高校がなくなるのは困るので最小限の統合は仕方ないと思う。
・一気にするのではなく段階的に考えて行うべきだと思います。
・運営上、人件費など現実的に統合は避けられない
・学校側の経営や少子化等のやむを得ない場合の統合は仕方ないが、出来る限り統合は避けてほしい。
・公共施設の維持には多額の資金が必要であり、LED 化の期限が迫っていることからも、統合するのであれば LED 化工事を行う前に統合すべきだと考えたため
・高校の数はそのままでいってほしい。減らさないで欲しい。
・子どもが減っているので仕方ない。ゼロになるよりマシ
・子どもが少なくなってきているから仕方ないことだと思います。
・勝手な意見ではありますが、あけぼの高校はクラスも減っているし、通学がバスしかないので、白鳳と統合が好ましいと思います。
・少子化が進むといろいろ問題も出てくると思われるため
・少子化が進むと統合はしょうがないのかなと思う。
・少子化が進んでいくので仕方ない部分があると思う。
・少子化なので統合は仕方がない事なのかなと思います。
・少子化により、統合は避けられないかもしれませんが、統合により、高校の配置が偏ることは避けてもらいたいと思います。統合せずに済むのであればそう願いたい。
・少子化により今までも統合してきているので、今後も避けられないと思うから
・少子高齢化が進むのは仕方がないから、一定の統合は避けられない。
・人数が減ってきているので仕方ないと思う
・先生の確保など問題があると思われるので一定の統合はさけれないと思います。
・統合し経費を集中させ良い学校にしていってほしい
・統合は避けるべきと思うが、そうもいかないだろうから。
・統合は避けるべきにすると、その分維持費や先生の人数も必要になり、それは現実的ではないかと思います。積極的に統合を進めて何かメリットがあるのならそれでも良いが、特にメリットが

なければ、一定の統合は避けられない、という回答になりました。
・すでに統合されている学校があるから。
・人数が少なくなるなら仕方ないから　　・今の配置を維持してほしい
・少子化なので、避けられないかと　　・仕方のない事だと思う。

③　積極的に統合を進めるべき
【伊賀市】　（16 人が回答）
◎学習面に関する内容
・1 学校で様々な科があると良いと思います
・人数の減少は仕方ない事なので無理に維持する必要はないと考えている。学校数は減らして教師の負担を減らすか、リモート対応などで授業のクオリティを上げて欲しい。
・総合的な高等学校を設置し、様々な学科で学習できる環境があるといいのではないかと思います。
・統合で人材や設備を集中させ、より充実した教育ができればよいと思います。

◎学力に関する内容
・昔に比べ全体的にレベルが低くなっており、出来る子は伊賀地区以外の高校に進んでいる。更に少子化で子どもの人数が少なくなるのであれば、同レベルの学校は統合して問題ないと思う。

◎学校生活・部活動に関する内容
・人間関係を身をもってしってもらいたい。青山は、青山のみ。とか、さみしい
・部活動など人数が確保できなくなる。各学校で定員割れが起こり、学校のとしての機能が維持できなくなる。
・部活動を充実させてあげたい

◎学校規模（人数）に関する内容
・高校は、教育効果を上げるためにはある程度のクラス数が必要と思います。
・少子化が進むことで、小規模化が進むことは仕方ないと思う

◎学校選択に関する内容

◎通学に関する内容
・伊賀市に 1 校、名張市に 1 校で充分。しかし、子どもが 1 人で通学できる公共交通機関なり、スクールバスは公費で整備が必要。

◎地域に関する内容

◎その他
・あけぼの高校を続けること。
・それが子供たちの教育を改善するためであるならば。何かをしなければなりません。良い学校は続けて、未来を与えない学校は中止してください。
・子供達のために統合せざるを得ないと思います
・統合して支出を削減し、教職者や子供たちに還元して欲しい。
・Falta esperança por oportunidades melhores para os filhos, é preciso criar meios o formas de lidarem com a realidade vivida. Pois muitos deles acabam trabalhando em um fábrica. Cadê os empreendedores, Cadê os autônomos. Cadê os incentivos para abençoar

o próximo e pararmos de olharmos para nos mesmos!Ganbare japao.
※子どもたちにとってより良い機会は望めないので、子どもたちが経験している現実に対処する手段や方法を作り出す必要がある。なぜなら、彼らの多くは最終的に工場で働くことになるからです。起業家はどこにいるのか、自営業者はどこにいるのか。他人を祝福し、自分自身を見るのをやめようとする動機はどこにあるのでしょうか。（Google 翻訳より）

【名張市】　（13 人が回答）

◎学習面に関する内容

◎学力に関する内容

・少子化で定員割れが進んでいる。募集人数を減らすか、統合し選べる高校を少なくするか、どちらかの方法を取らないと競争が生まれず高校の質を保てない。

◎学校生活・部活動に関する内容

・それぞれの特徴を活かしたまま、統合される学校の特徴が失われないようにして貰いたい
・伊賀地域の高校にも同じような高校があることと伊賀地域以外の学校への進学者もいるため。
・同じような理念を持った学校は統合しても良いと思う

◎学校規模（人数）に関する内容

・子どもの意思が第一優先にはなるが、より多くの人と関わる環境が大切だと考えるため、通学時間等は多少気にはなるが、統合は賛成。
・少人数、小規模の高校になる事で、手厚い教育を受けれるならいいが、統合して、ある程度の人数の学生の中で色んな経験をして欲しいと思います。もちろん、優秀な先生の授業もたくさんの生徒が受けれて、伊賀地域の学力の向上にも繋がればいいなと思います。
・統廃合により、充実した設備、人員配置、がなされ、多数の中で切磋琢磨してほしい

◎学校選択に関する内容

◎通学に関する内容

・鉄道沿線に配置するのが望ましい。どうしても遠方で通えない子には、寮なども検討してもいいと思います。

◎地域に関する内容

・少子化が進んでるからこそ学生のうちにたくさんの同級生を作るべきだと思うから。同級生がたくさん居た方が将来的にまたどこかで繋がり地域の活性化に働くのではないかと考えます。

◎その他

・教育や社会のあり方の転換期にある今、積極的に統合してもよいと思います。伝統は守らないと残りませんが、時代と共に変化させなければ発展はないと思います。目に見えて子供の数は少ないのですから、仕方ないでしょう。
・質の良い学校を残すべき
・少子化なら仕方ない
・設備と人材、予算の適正化（選択と集中）が図られることを望みます。

15 今後の伊賀地域の県立高校の学びのあり方について、ご意見があればお聞かせください。

【伊賀市】　（145 人が回答）

◎学習面（学び）に関する内容

・名前だけで何をしているかわからない科にするのではなく科の名前を聞いただけで何を勉強しているのかわかるようにすれば良い。行きたくもないコースにいかされ辞める生徒がいるぐらいなら最初からその人数を取るべきだ。伊賀、名張以外の高校情報ももっと生徒に伝えるべきだ
・部落差別問題の人権教育は異常なまでに小中でやりすぎているので、高校では必要ない。
それよりも、お金の使い方や資産運用、税金についての勉強、選挙の大切さなどを成人するまでにきちんと教育させるほうがいい。
・普通科を増やして欲しい。
・普通科を増やしてほしいです。
・普通科も必要だが、専門的なことを学べる学課があるといいのではないか。
・普通科、専門学科は別であってほしい
・不登校の人数が増えているので、学校に行けなくてもオンラインでも学べるようなシステムを早急に作って欲しいです。学校に行けない子の中には、学校という場所に行けないだけで学びたい気持ちがあったり、第二の居場所を探しています。
・白鳳流をさらに向上させる。より多くの若者が自分の職業上の将来について学び、考えることができるように！
・特別学校の子供達や少しの手助けがあれば学びを得ようとしている子供達も学べるような学校を希望します。県立高校での学びが県内の企業をつながりをもって県民みんなが良い生活・暮らしができるような流れを県立高校から作っていただければと思います。
・統合する規模や時期はいろいろあると思いますが、子どもにとって希望がもてるような学びの場になるよう願います。
・統合し小規模化されたとしても、コースや科の選択肢を減らさないでほしい。
・統合しても、生徒が希望する学びの提供は継続して頂きたい
・調理科を目指しているのですが、伊賀地域にはないので市街の高校まで通わなくては行けないので負担が大きい。可能であれば伊賀地域に調理科を作ってほしい。
・中学生の間に進路を決めきれない子もいると思うので、入学してから先輩方の学習風景をみて 2 年から専門コースを選べるといった工夫があると良い。そのまま普通科として大学進学コースもあり、専門コースもあり…など多様性が必要。今も既にそうであったらすみません。ただ小学校のうちから高校の様子は全くわからないので、小中高の交流もあれば、小学校のうちから進みたい道がみやすいかも知れません。自由参加ではなかなか参加しずらいので、学校で強制的に開催して頂けると有り難い。社会科見学で市内の学習するのと同じくらい当たり前に学校活動になることを望む。
・大学進学に向けた普通科、介護やその他の専門科など多様な選択肢から選べるとよいと思います。
・大学進学がしやすい学校を増やして欲しい。
・大学進学、専門学校、就職など、それぞれの進路に向けた学習がしっかりできて、実績があればいいなと思います。大学進学を考えている中で県立高校で大丈夫かなと正直思います。学力が近い学生同士が切磋琢磨してそれぞれの進路に進める高校を希望します。
・多様な選択肢を与えることができ、今しか出来ないことを経験できるようなカリキュラムを提案してくれる高校が増えたらいいのでは無いかと思う。
・選択科目の強化。
・専門的にいろんな事を学べて、将来に役立つような授業を期待します。

・専門的な分野を学べる学校があると嬉しい
・専門的な先生が教えてくれるような授業、グローバルな海外でも活躍出来る人材を育ててもらいたい。
・専門的な学科だけでなく、選択肢が広がるような学びができるようになると良いと思う。
・専門的なことを学ぶ高校が増えているように思う。普通科が少なくなっているのは何か意味があるのでしょうか？
・進学先としての高校はできるだけ残してあげてほしい。また、学力だけでなく社会での経験や様々な課題を調べたり考えたりすることで学びを深めてほしい。
・将来に役立つ学科や学びの場が欲しい。
・受験をするという事は、学びたい姿勢があるらから出来る事であると思う。そして、学ぶ事で、そこから気付きやひらめきが生まれる思う。それが、学ぶ事の楽しみ。あの高校でいいや…ではなく、あの高校に行きたい！と思える魅力ある学校であってほしい。
・社会人に向けてもっと専門分野が学べる高校をもうけて欲しい。
・資格等もっと取得する機会を増やしてほしい！
・子ども自身がそれぞれ自分の行きたい、学びたい学校を選べる高校であってほしいと思います。元気ですこやかに学べる学校を作っていってほしいと考えます。
・子どもたちの選択の幅が広がるような学びがあればいいと思う。
・在住外国人が多いこと、地方(田舎)であることを考えると、グローバルな視点と、ローカルな視点を取り入れた、国際的な教養が身につくような学科があればいいと思います。地域に根ざした、グローバルな視点が身につくような授業を、大学と連携して行うなど、多様な価値観や考え方、生き方に触れる機会を作ってもらいたいです。客観的に見て、伊賀にずっといる人は、プライドが高いだけで、井の中の蛙大海を知らず、という印象があります。時代錯誤な慣習や価値観がまだまだ残っており、変化を嫌い、出る杭は打つ。これでは、若い人たちは伊賀を出たくなると思います。自分の子どもたちにも、外の世界を知ってもらいたいと思います。子どもたちには、色んな価値観をもつ人や考え方に触れてもらいたいです。
・今後、ますますグローバル化が進むと思います。田舎でありながらも、世界に通じる視野の広い教育が受けられると嬉しいです。
・高校は大学に行く為に有るのではなく、将来の人生設計を考えるようなところであって欲しい。大学に行くだけが人生ではないと思う。
・高校に行ってるだけという環境ではなく資格や専門知識を学べる意味のある三年間になれる学校を作ってほしいです
・高校から将来の進路に確信を得ている子供は少ないと思うので、専門的な知識や技能、資格を習得するだけの学部は今後必要なのかと疑問に思うことがあります。
・県外の高校をもっと視察して、授業のあり方を学び直すべきだと思う。
・気をてらった学科？コース？が多い印象です。(動画編集、パティシエ等々)
・希望する生徒には学びの提供をしていただきたい
・学生と社会人のギャップを無くす事。学生は受身的に学ぶ。社会人は会社や組織に自発的に成果を出し貢献しなければならない。そのギャップを無くすために自発的に物事に取り組みそして世界中にその取り組みを発信出来る様な人材を育成していかなければいけない。そのためにまずは言語。日本語、英語はもちろんその他の言語をもう一つ位は日常会話が出来るくらいになって欲しい。そして政治経済について自由に発言できディスカッション出来る場を作って欲しい。(自主的に発言できる場所)　もう一つはお金の勉強が必要。お金の行方が投資か消費か？必要なのか欲しいだけか？貯めたお金を自己投資か資産運用するか？借金の方法、仕組み、起業の方法など勉強の方法は従来通りで良いと思います。しかし私立も公立も関係なくその学校の特色を出していかないと生き残っていけないと思います。
・学びの選択できる環境

・学びたい事に特化したコースを充実させるべき。
・学びたい学科で落ち着いて学習できるようにしてほしい。確かな学力を身につけて、さらに専門性を高めていく学校への進学を見据えた学びに期待したい。
・各学校のレベル、学科、コースなどを明確に、学校それぞれの特徴を保ってほしい。
・各学校ごとの特色をいかして、学びの選択肢を広げてほしい。
・外部の専門的な講師による授業を増やす。クラス単位ではなく、大学のような授業スタイル（選択制）を増やす。
・外国籍の子どもが多いので、その子どもたちの受け皿となっているようなあけぼの学園などを安易に切ることはやめてほしい。
・英語の会話力を身に付くカリキュラムを取り入れて欲しいです。これは高校からでなく、小学生から始めるのが理想です。名前は忘れましたが茨城県でその様に力を入れてる市がありました。
・伊賀地域の各学校の特徴を生かしつつ、統合が必要になったとしても、それぞれの子どもたちが、将来の自分を作り上げていくための土台を、個々に応じた学びのなかでできるようにしていって欲しいです。
・伊賀地域から地域外に出ていく学生が多い。何を求めて地域外にでていくのか、特色のある科や、特色ある部活動で他の地域から来たいも思える高校にできれば学生が増えるのか
・伊賀の子どもたちが自分の将来を考え、学びたい高校があると言うそんな地域にしてもらいたいです。
・もし統合する場合、現学校の学科を学びたいという子供がいると思うので、その学科を残した上で統合してほしい。
・いろんな、職業を知れる機会が増えればと思います。意外と知らない職業も多いので。
・Q14 の回答に近いかも知れませんが、様々な事情を抱えるご家庭が沢山見えます。学びたい学科があるのに、統合の為に無くなってしまった。そんな高校生活、楽しめますか？統合をするなら、無くす事ばかりを優先せず、今ある学科をどこかの学校で引き継いでください。学力問題も大事ですが、子どもたちが通いたい学校を選べる、幅広い受け皿を作ってあげてください。

◎学力に関する内容
・ある程度の学力が付くように、進路が決めやすくなるようにした方がいい。
・ムカつきしかない。人数が少ないから仕方ないのだろうが、高校の数がそもそも少ない。さらに言うと偏差値の高い高校が少ない。また、偏差値が高い高校(と言っても上野高校が大阪の北野高校程度かと言うとそうでもないのも残念です。理数科が偏差値高め、普通科は中間という印象)低い高校(白鳳高校)という。その間に名張や青峰というのが公立高校、そしてあとは名前を書けば受かるなんて言われるあけぼの高校ですね。高卒で働くことは悪いことじゃないので手に職に全振りするのはいいと思います。ただ、中間の子にとっては選びにくいです。通学の便が悪すぎます。端的に言うと学習面的に子育てしにくい地域で、出来るなら地元に戻って高校生活を送らせたいくらいです。高校を卒業しても大学は？どこに行けばいいんですか。県内の三重大も遠いです。通ってる子も皆大変そうです。通学だけで疲れています。高校の場所をひとつにして、皆そこに通うとか難しいですか？そしたらバスとか手配しやすいかなと思ったのですが。少子化はもうどうにもならないと思いますが、今いる子達になんとか良い高校生活送らせてあげてください。
・もっと全国でも通用するような学力や社会性が身につくような学校にしてほしい。
・伊賀市内の高校は学校数が少ないので、選択の基準が学力しかないように感じます。同等の学力で選択できないのは残念です。そう考えると、伊賀以外の校区に目を向けるのは自然かと思います。
・希望者は全員入れてあげて欲しい。単位が取れなければ卒業できないとか、15 歳程度で人生のつまずきを味わって欲しくない。

・現在、数学、英語を支援学級で学んでいます。その他の科目は大丈夫という訳でもない状態です。しかし、人とのコミュニケーションは取れるし人のことも考えられる子だと思っています。高校進学にあたりやはり成績は重要だとは思うのですが成績を重視されるとうちの子はどこにも進学出来ないと思っています。支援学級で学んでいることも考慮しながら合否をつけて欲しいとの思いも強いですが、やはり１番はその子の性格や人間性など、テストや作文等の結果、成績などではわからない内面的な部分もしっかり見てもらいたいと思います。『支援学級に入っている』ということだけで他の子より不利になるというのはよく聞くことなので心配、不安に思っています。
・個人の理解力にもよるが現在高校に通っている子どもは高校の授業だけでは理解できていない。うちの子どもだけでなく周りの子もそのよう。塾にも行き大学受験がようやくできそう。高校では放課後追加の授業も用意してくれて選択で勉強しているがそれでも不十分だと感じている。現在の先生が用意した内容を教えてもらうことは子どもは時間の無駄だと感じている。それより、問題集を事前に解いたものの中でわからないところを個人的に教えてもらうほうが効率がいいと感じている。伊賀地域ではない学校だったらもっとわかりやすい授業が受けられたかもと子どもが話すのはショックだった。高校の先生もわかりやすい授業を心がけてくれているとは思うが、進学先がそれぞれな子どもがどうしてほしいか、何についてわからなくて、何をわかりたいと思っているかを理解してサポートしてほしい。
・高田高校のような私立の進学校があれば、選択肢が増えると思う。
・子供の学力に合わせた選択、将来の目標に向けて勉強出来る環境は守らなければならない。高校に行けない、学歴が低くなる様な環境ではダメ。
・小学校からの学力の底上げをおねがいします。出来ない子に合わせるのではなく、出来る子はどこまでも学力を伸ばせいていける学習をしてほしいです。勉強したければ塾でという考えはやめてください。学校は、学力と集団生活の両方を学ぶところです。学ぶ基礎が出来ていない子には、先生方は遠慮なくその家庭にその旨を伝えてください。真面目に子育してきた者が我慢する、今の学校体制はおかしい。
・少子化の現状を止めることは、もはや不可能なレベルになっています。県立高校も、必然的に意見をどのように募ったところで、人数が減るため、結果的に統合せざるを得なくなります。そうなると、いわゆる偏差値の上下による高校の差を作り出すことも少子化の伊賀市では出来なくなり、通学に比較的便利な場所の高校に普通科と職業化の両方のクラスを作り学校の数は統合して最終的には、二つくらいの高校になってしまう先を考えると、同じ高校に集約し、学ぶ科を複数作ることが現実的ではないかと思います。高校により普通科専門　職業科専門の学校を作ると、少人数の高校が出来上がり、やはり文化祭、体育祭等のイベントが成立しにくくなり、さらに県外の高校への越境入学を加速させることになるので、ひいては伊賀市の人口低下を加速し、より少子化に拍車をかけてしまいます。子供の子供たちの世代のためには、高校の統合後、より他府県の子供たちと格差の出にくい複数のコースをかかえる高校を作ることを希望します
・進学校では大学に進むために学力をあげることが必要だと思うので、もっと学力向上に力を入れてほしい。伊賀の高校では学力が下がるので、市外に出ていく子も多いとよく聞きます。
・進学校でもかなり偏差値が落ちてきている。進学を希望する子が伊賀でも十分に勉強できるシステムにしていただけたらと思います。
・進学校の上野高校についての意見です。上野高校は伊賀市の伝統ある進学校ですが学力レベルの低下が著しいです。伊賀市内で将来伊賀市の頭脳になりえる志が高い子供が、市外の津高や四日市高校を目指いして流出してしまっています。まずは上野高校の定員を 120 人程度に絞り少数精鋭で県内トップレベル学力が身に付く学校にすれば、市外からも上野高校を目指し生徒が流入して来るのではないでしょうか？
・大学に進学希望する子供の学力レベルが落ちないように教育してほしいです。
・頭がいいとこに行くようにしたいです。

・優秀な生徒が伊賀以外の高校へ行く必要がなくなるように、上野高校のレベルを上げる必要があると思います。

◎学校生活・部活動に関する内容

・これまでの歴史を受け継いでいってもらいたい
・コロナやスマホライン等が主流になってるので、コミュニケーション能力を自然に身につける場を作ってもらいたい。
・スポーツにももっと力をいれてほしい。息子は強豪校へ進学したいと言っているが、伊賀にはない。
・スポーツを頑張らせたいと思う家庭に関して、積極的に活動をしてほしい。
・せっかく校舎があるのなら、今しか経験出来ない貴重な時間を充実してすげさせてあげたい。
・一定数を維持するとクラス数は減少するが行事だけは合同で市営体育館などを使用するなどの工夫をしてにぎやかな高校行事も子供たちに感じて欲しい。
・学級数は減らしても、各学校のカラーは特色あるものだと思うので、統合は避けて欲しい。通学費等の懸念もあり、できる限り伊賀に高校を残して欲しい。
・学生から社会人になる時の急激な変化に耐えられなかった時には、すぐに福祉でワンクッション出来る様に日頃から学校が福祉業界と連携していくことが出来ればと思います。
・旧態然としている。教員の考え方が古い印象がある。昭和時代の無意味な風紀取り締まりがある。風通しよくしないと、都会の私学に置いていかれると思う。
・教員が、少ないから、１人１人に寄り添う事が出来るのか。
・兄弟があけぼのに通っているが、少人数クラスの良さがある。１人１人が理解できているか確認しながら進めてくれる先生もおられる。またクラスが違っても大半の子の顔と名前が一致している。外国の子への日本語の授業もあり受入体制が整っていると思う。あけぼのは統合の話題によく挙がるが、必要な子がいるので、継続してほしいと強く願う。
・県立高校の 2 次募集枠が少なく 不安です。遠方の私立に通うことになり部活動を途中であきらめた子もいますので 配慮していただけるとありがたいです
・現在の県立高校がどのような学びをされているのか正直わからないので意見も難しいのですが、一番は子供たちそれぞれの個性がプラスに発揮されるような学校ならいいなと思います。勉強が出来ると言うよりも、社会に出たときに役に立つスキルを身につけれる授業をして欲しいです。
・個々個人で選択して将来に繋げられる学び場になっていけばいいかなと思います
・今、発達障害の子供たちが多いので、この子たちの居場所？学ぶ場？があればとおもっています。つばさ学園は、手帳がないとはいれないけど、手帳がない子たちが行ける所が欲しいです。
・子どもたちが、いきいきと元気で笑顔で通える学校づくりをお願いします。
・私は普通科でしたが、大学のための予備校のように感じ、授業についていけなくなってから高校が楽しくなくなり、友達もできずつらい思いでしかありません。何を楽しめるか、学力は個人の素質に関わるかと思いますが、将来を考える余裕をもてる、環境があればありがたいと思います。少数でも他校と交流をもって同年代の人と良い刺激を受け合って延びてほしい。多くの情報を個人で選択して学べる環境を与えてほしいです。
・自分の高校のみで完結させるのではなく外に広がる活動をしてもらいたい。　各高校を順番に回る交流会があればすごく良い。
・社会に出るとコミュニケーション能力などが求められるので、人間性も学力もどちらも身に付けられるとよい。生徒が減って学校を維持できないのであれば、ひとつの学校に進学コースと就職コースを設けるか、一人の教員が複数の学校で教えるなどが必要では？
・少子化が進み学校の運営も大変かと思いますが、それぞれの子供たちを手厚くサポートしてい

ただきたいと思います。
・人数が少なくても、それを強みにして、きめ細かい指導ができるように活かしてほしい。
・生徒の意見に柔軟な対応をしてほしい
・誰１人取り残さない高等教育を提供できるように高校を残してください。どうぞよろしくおねがいいたします。
・普通科など、名称も変わってしまい、多様性が重視されてるため、制服もブレザーになっているが、伝統も大事にしてほしい。新しい学校もよいが、古き良き時代のノウハウなどは、受け継いでほしい。
・Crie mais eventos para as crianças!!!
※もっと子供向けのイベントを作りましょう！（Google 翻訳より）

◎学級規模（人数）に関する内容
・いただいたプリントを拝見し、かなり少子化が進んでいる状況を知り驚きました。避けられないのであれば、それを活かし、少人数でよりきめ細やかな教育をしていただけるようになったら良いなと思います。1 クラス 40 名を減らす、もしくは教科によってはさらにクラスを分け、学力にあわせた少人数クラスで授業を行うなど、あると良いのでは？と思いました。ちなみにいま伊賀市は高校の交通費を半額補助してくださっていまして、大変ありがたいです。この支援が他市にも広まると良いなと思いました。
・上野高校にもっとクラスを増やして欲しい
・統合は仕方ないと考えるが、伊賀地域での定員数は維持してもらいたい。多様な学びがあり、将来に向け資格取得ができる学科はそのまま残して欲しい。また、発達障害がある生徒が増えている現状があるので通級や発達支援などの充実を強く望みます

◎学校選択に関する内容
・皆さんが子供たちのためによりよい選択をしていると信じているので、私達保護者も現状を受け入れて我が子が進学する学校選びをしたいと思う。
・経験や実際の活動をふまえて自主的に選択できる場を提供してほしい。
・子ども達の夢の選択肢を狭めないでほしい
・子供が少なくなるという理由で統合するのはやめてほしい。選べる学校数が少なくなることは子供達の選択肢を狭め、可能性を少なくすることに繋がると考えています。小規模でもよいので学校数はこのままでいってほしいと考えます。
・進学、就職等それぞれの子どもたちが選べる環境を保って欲しい
・選択肢が少なく、子供の人数も減り統合していくしかないのかもしれないですが
子供たちの選択肢も狭まっている気がします。

◎通学に関する内容
・伊賀地域の公立高校が減ってしまうと遠い学校に通うことになり親も本人も通学の負担が増えるので、できればあまり減らない方がいいと思う。交通費の援助等あれば親の負担も減ると思う。
・公共機関を使って、子ともだけで通学できるよう整備して欲しい。
大学や企業ともっと密に連携して、高校から先の選択肢を確保、広げて欲しい。大学等も身近になさすぎて、子どもはイメージしにくいようだ。
・住む場所によっては、高校が選べない。スクールバスなどを増やし、伊賀・名張の子どもたちが自由に選択できるようにしてほしい。
・住んでる場所で通学時間がだいぶ変わってしまうので進学も就職もどちらもできる高校があると選択肢がふえるかなと思ったりもします。

・電車やバスの公共交通機関の不便さ(高額)

◎地域に関する内容

・伊賀で学んで、伊賀で就職できるように高校と企業が連携してほしい。高校から企業の必要な人材育成なども学ばせてほしいです。進学も良いけど、就職にも力を入れてほしい。
・伊賀地域だけを考えても、地域以外への流出生徒が多く学びのあり方を議論するための基礎が弱くなっている。地域の子どもたちが地域で学べる体制と実績を出せていない課題を明らかにしてから学びのあり方を考えてほしい。そのためには県教委だけではなく市教委も積極的に課題整理をし、それぞれの首長部局へも交通の利便性向上など教育のための環境整備に注力すべきである。小中の環境整備は校区をベースに考えればよいかもしれないが、高校は県全体を見た交通政策とつながって交通弱者である高校生の学びのあり方につなげていただきたい。数字上の効率や私立化推進により、県立高校としての魅力をみずから消してしまうような検討はやめていただきたい。税金で賄う県立高校である以上、「誰一人取り残さない」というおおやけの責務をふまえた高校年代の学びを県や市町がともに保障していくべきであるし、評価の基準もそうあってほしい。
・学校の取り組みなどをもっと地域に発信してほしい
・現在の(学びの)状況が全くわからないので…ただ伊賀市は人権について力を入れている地域だと思うので、人権のことを毎日考えている人は殆どいないとは思いますが、でも凄く大事なことで、そこの部分は高校でも大切に学んでいくことが、住みやすい伊賀市に繋がっていくのではないでしょうか
・高校だけでなく、子供が少なくなってきているので、子育てをしたいと思えるような伊賀市であって欲しいです。
・今、これからも可能性のある通信機能を活用し、遠方に出向かずとも高い教育を受けることは出来ると思います。地域から若者を放すのではなく、地元にいながらも先端教育から高い専門性まで幅広く可能性を与えられる学校を望みます。
・今現在、地域外の高校に行かざる終えない生徒もいる。ただ、県外や地域外に登校できない生徒もいると感じる。今の県立高校を維持していただきたいと切に願います。
・子どもの数を考えると、伊賀市と名張市に一校ずつでもよいと思います。
・子供が小学校入ったときに学校に聞いたがアンケートも何もしなかったので、もうなし崩しになって行くのは避けられないのでは。子育て世代が他の周りの市にどんどん流出しているのはわかっていたのに対策を悪い方向にしていたことが原因だと思っています。伊賀市は同和教育ばかりで子供のことは後回しにしていると思っています。
・私（親）の中学生時代は名張、伊賀の高校に入学するのがほとんどで、ほんの一部の子が伊勢方面や津方面に入学する子がいた。しかし、今は伊賀地域外に入学を希望する子が多いように感じる。我が子も中 2 ですが、伊賀、名張市内の高校に入学することは一切考えていない様子です。県内も微妙で、県外を考えている模様。昔よりインターネットや SNS が普及し、子供も自ら情報を素早く取りにいける時代。魅力を感じる高校を探し、目を外に向けるのは自然なことだと思う。それと同時に今時点で、子供の様子を見ていると伊賀市、名張市の高校に全く魅力を感じていないというのも感じる。
・少子化の影響により統合せざるを得ない場合は県内だけではなく、県外の学校への選択肢も考慮して頂きたい。
・人口減少に伴い、統合や再編の議論が必要ではあるが、地元住民や幅広く意見を募って、慎重にすすめてほしいと思います。
・地域の企業との連携や、地域の伝統的な祭りなどの参加など地域の活性化や地域の資源なども学んでほしい。
・地元から高校を減らさないでいて欲しい

・地元の文化や産業に触れる機会を増やし、自分で考えて行動できる取り組みが増えると地元愛が芽生える気がします。
・統合を検討するより、県外や市外から、人が来たいと思うような住みやすく、魅力のある市にするということに力を入れてほしい。そうすることで、伊賀に住む子供の可能性が広がると思う。
・評価は四日市市や津市が高い。人口なのか？わかりません。でも、評価を上げることよりも、とりあえず下げないことを期待します。
・保護者にも、学校生活の様子が伝わる様に毎月の学校通信は必要だと思う。紙はもったいないからアプリ等で学校通信を保護者に届けて欲しい。

◎その他

・１２の設問の回答としてプリントには⑦本人の希望次第があります。このWEB上では回答がないので、⑦特に考えはないとしていますが、本人の希望次第でお願いします。
・できるかぎり、統合は避けてほしい。１つの学校がなくなるときいているので困る人も多いのではないかと思います。
・とりあえず現状維持。減らすのは簡単だが増やすのは難しいのでその時々で考えるのが無難。
・どんどん過疎化が進む一方なので、子供たちが卒業後、就職、結婚、子育て、老後などの人生を歩むにあたり教育、行政一体になって将来につながる学校教育、希望あるまちづくり、整備を望みます。
・伊賀地域の高校には子どもがお世話になっており、先生方も一生懸命取り組んでおり感謝しています。子どもたちの母校がなくなるのはさみしいばかりです。そうならないように願うばかりです。
・県立高校、私立高校のどちらを選んでも、授業料の無償化を実現させていただきたいです。
・根性論のような科学的根拠のない事は辞めて、科学的に正しい事を優先して欲しい。そのためにも教師の皆さんには今までの経験だけに頼らない事をしてもらいたい。
・私立や広域通信に生徒が流れてしまわないように、県立高校の魅力を高めてほしい。
・上高の美しい制服を変えたことは間違っていると思う。
・他市からの生徒も入りやすい魅力ある高校を作れば、閉鎖した伊賀全体の雰囲気も変化するのではないでしょうか。
・統合はしないでほしい。

【名張市】　（104 人が回答）

◎学習面（学び）に関する内容

・１人１人の個性に合わせた教育をしてほしい。
・①専門的な他にはない学科を作り他の地域からも来たくなるような魅力的な学校にしてほしい ②民間会社からの校長③留学生受け入れ
・かつての名張高校が、既存の学校から新しく生まれ変わり、地域と連携したり子どもの学びを多様化させたり、良い方向に新生されたように、他の学校も学校独自のカラーを打ち出し、他地域からも子どもを始め人を呼び込むことができれば、それが伊賀地域の存続にもつながると考えます。既存のやり方を踏襲してただ時代に流されていくのではなく、ピンチをチャンスに変えられるような、新しい試みを持った学校が伊賀地域にあれば、子どもを通わせていただくにもこんなに誇らしいことはありません。子どもたちの未来が明るくなりますように、どうかよろしくお願いいたします。
・伊賀地域の県立高校については、どの学校もコレ！といった強みがない様におもう。ただ、学力に応じて、入れる学校を選択しているように感じるので、この学校でこれがやりたいと思えるような取り組みが学校にあればよいと思う。
・伊賀地域はもちろん、世界のどこででも活躍できるような子どもを育ててほしいです。
・何かに特化した高校、進学校とハッキリさせた学校作りの方が良いと思う。
・何かに特化した高校や進学校もランクがはっきりしてる方が良いと思う。
・海外や日本など、世界にはどんな職業などがあるかなど、世界の社会について学べる場をますます強化して欲しいです。
・学力だけでなく、各々の能力を伸ばせる幅広い教育が受けられる場があればと思う
・現代には必須のプログラミングや株、投資などに特化したクラスや科が出来て欲しいです。今の所、そういうのを学ぶには私立に通わないといけないので、県立にできると経済的にも助かります
・子どもの状況に併せたより広い学びができると、子どもの自己肯定感もあがり、より良い社会を目指せるのではないかと考えます。
・子供たち一人一人が目的をもち学べる環境を期待します。
・自分の勉強したい事や、やりたい事を目指せる学校になればいいと思います。
・社会にでても対応できるスキルを身につけてほしい。そのなかでの多様性な選択肢があれば良いと思う。
・就職に有利な資格が取れる高校等あるようですが、実際の取得率は低いように思います。なぜならその子たちは真面目に勉強をしてこなかったが為にそこにいる訳で、そんな中で資格党の勉強を果たしてするでしょうか？最後の学生生活になるわけですから、社会に出て恥をかかない程度の一般教養を身に付けた方がいいとおもいます。
・上野高校のように、時代に合わせて学ぶ内容が柔軟に変わっていくといいと思います。
・色んな学科やコースがあって、やりたい事に近づけるような形になると良いと思う。学生の間にめいっぱいたくさんの事を経験させてあげて欲しい。
・人間性や社会マナー、もう少し踏み込んだ内容を知る事のできる年齢だと思う。社会経験をより多く積める授業が必要だと思う
・専門的な高校はぜひとも、減らさず続けてほしいと思います。高校生から専門的な分野を学べるなんてありがたいと思います。
・卒業後に進学するにせよ就職するにせよ、高校を卒業すると成人となるため、社会を担っていくための教育を施してほしいと思います。その中で一人一人の希望に沿った進路を選べるような環境が整っているとよいと思います。
・特殊な学科や専門的なところは残すべき。
・普通科がもう少しあればと思う

・福祉業界で働いています。白鳳高校のヒューマンサービス科の学生の実習を多く受け入れ、わずかですが卒業生が就職してくてています。ヒューマンサービス科の存続が途絶えると、福祉を学びたい子は伊賀から離れた高校に進学され、進学した先の地域で就職先を決められる可能性が高くなるようです。高齢化の社会を今後 10 年 20 年支えてくれてる大事な人材です。伊賀名張の福祉を支えるため、ヒューマンサービス科の存続を希望します。
・勉強ばかりでなく社会に適応できる子供たちの育成に力を入れて欲しい。
・勉強ばかりを学ぶ学科のある学校ではなく、専門的な分野を幅広く学べる学科のある学校が多くあってほしい。

◎学力に関する内容

・レベルの高い高校が伊賀に必要
・伊賀地域から大学進学を希望します。通学できるように学力を身につけてほしい。
・伊賀地域に子どもを残すことにこだわらず、世界に通用する人材を育てていけるよう、学力強化に取り組んでほしい。
・伊賀地区の高校の偏差値が下がっているので今後小規模化になるのであればこそ、充実した授業内容で子供達の能力向上に努めてほしい。
・学校ごとの適正学力の幅が狭い。どの学校も交通の便が悪く交通費が高い
・学習障害、例えば LD の子が、支援を受けられるような専門性のある教員を配置して頂きたいです。
・学力が低下していて、塾へ通わないと大学進学できないと聞くので、塾へ通わなくても進学できるよう学力をあげて欲しい。
・学歴のレベルアップを重視して欲しいです。統合することに反対はしません。ただ統合することにより学業レベルが下がるのであれば、人口流出に繋がるとしか思えません。今後の子供たちが社会に出て生きていくためには、学業はとても大事なことです。地元でしっかり学べて全国に出ていける教育にして欲しいです。民間の塾に頼ることもおかしいです。子供たちが全国に出ていくことは人口流出とは思いません。学業にしっかり取り組める地域であることで、今後この地域に人が定着すると思います。とにかく、学業は大事です。よろしくお願いします。
・金銭面や地域的に送り迎えの都合でなかなか塾に通うのが難しかったりの家庭も多くあるかと思うので、この高校に行けば塾に通わなくても大丈夫な環境の学校が増えてくれれば嬉しいです。
・国公立大学を目指せるコースや、それを指導する教員などを充実させてほしい
・少子高齢化に伴い高校を統合する可能性が高まっているとの事ですが、各学校の特色、偏差値にバラツキがあるなかどう統合するのか。レベルが上がってしまったら、県立に入れる枠が減る可能性は？偏差値が高い高校（レベルが近い）同士が統合するのか、偏差値が高い高校と低めの高校が統合するのか…伊賀市に統合高校が集中しないよう、名張市内にも通える高校を。色々な意見を議論しながら全ての子供が希望する高校に入学出来るようにお願いしたいです。
・上野高校と他 4 校との学力差がありすぎるように思う。上野高校と他 4 校との中間のような高校を選ぶとなれば遠距離通学になってしまう。伊賀地域内での高校学力差の調整をしてほしい
・進学校を 1 クラスでいいので作って欲しい。津や四日市まで通うのは本人の負担が大きい
・津高校、津西高校レベルの教育や進学率の高校を伊賀地域にもつくってほしい。
・統合しても偏差値が上がるようレベルの高い教員を揃えて他地域からも通ってもらえる学校にしていって欲しい。
・特色のある学校を作っても、実際はまだまだ学歴社会なところが多いので国公立への進学を親は望んでいる。その辺りの高校は詰め込み教育ではなくしっかり目をかけて授業を進めてほしい

◎学校生活・教育に関する内容

・オンライン授業を増やしたりして、体調不良でも出席日数を稼げると休ませやすいです
・スポーツの強豪校となる高校を増やして欲しい
・ネット社会で育ってきた時代の子供たちは大人や人との関わりが苦手に感じます。高校を出たら社会に出る子、進学しアルバイトなど経験する子、そこでつまずくのはもったいないと思いますので学校にいる先生など年上の方との関わりも何かしら学べたらいいと思います。学び身につけるものではないと思いますがヒントを与えないと身に付けれないのが今の子供のような気がします。
・各学校の特徴が違っていれば、そこにあった方達が選ぶと思います。
・学校から生徒一人ひとりに対してきめ細やかな指導をして欲しい
・希望に輝くような青春を送ることができる学びの場にしてほしいです。
・給食にしてください
・県立高校でも、多様性・個性をのばすフリーな高校を作ってほしい。今ある多様性・個性を伸ばす高校は私立ばかりで遠い。学費も高いし、遠くて選ぶのに躊躇する。多様化する子どもたち、自分らしく生きたい子どもたち、意図せず不登校になってしまった子どもたちが行ける県立高校も作ってほしい。全ての子どもが自分らしく生きていけるように学べる学校を作ってほしい。
・今より少人数になる分一人一人に手厚い授業をしてもらえたらいいと思う。
・子どもには学習だけでなく部活動などを通じて多くのことを学んでほしいと考えています。ですが、周囲の人の話を聞くと、部活動が盛んな学校や強豪校に進学したいということで伊賀地区以外の高校を選ぶ地元の中学生も多いと聞きます。これは伊賀地区の高校だけの課題ではなく、そもそも伊賀地区における中学校での部活動が盛んではなく、中学で部活動に加入していない生徒が増えているため、高校から新たに始める生徒も少なくなっているのではないでしょうか。部活動に限らず、学びのあり方や県立高校の課題を考える際に、中学校・小学校の課題とも関連させて検討していただけたらと思います。
・子供達の主体性を大事にする教育を望みます。子供達の行動や服装を画一的に揃えようとし、違いを認めず出る杭打つような文化を助長するような校則や慣行がいまだに残っています。子供達には今後主体性を持って活躍してほしいと誰もが望んでいると考えます。社会の中で子供達も自分が当事者であるという意識を育んでもらうためには、子供達にも様々な選択肢や自由を与えるべきです。そのため、以下を提案いたします。
　◯頭髪（髪型、長さ、カラー）、下着（靴下など）の校則を撤廃
　◯学校行事は自由参加とし、部活は休みやすい雰囲気づくりを作る。
・私は高校生活がとても楽しかったです。人数が多い時代だったので、色んな友達ができました。情報課で、色んな資格を取ることができて、社会に出てからも勉強したことが役に立つ事が多くて良かったです。部活やバイトも良い経験になりました。これからの子供達も、楽しく充実した高校生活が送れるように良い方向に向かって行けるように協議していってほしいです。
・私学には無い子供同士の道徳的な学びや助け合って学力を伸ばして行く、心身ともに健康的な毎日の暮らしが自然に学べて、その上でしっかり学力を付けて偏差値が全国で通用する値をしらしめて欲しいと思います。
・私立に比べ、きめ細やかなフォローがあるとは言い難い。授業もコミュニュケーションの向上や、自主性を育むような工夫を望みます
・青峰高校ホッケー部のような、県内でこの学校でしかできない魅力的な活動ができる高校が増えると良いですね。ホッケー部、県としてもっと大切に育ててほしいです。あと伊賀地域の高校は今はプールがないですけど、どこか一校に作って水球や飛び込みみたいな、少しマニアックな、でもオリンピック種目な部活動ができたりしたらおもしろいかも。あとは伊賀地域の文

化にちなんだ忍者や組み紐を部活動だけでなく授業に取り込んたりすると、伊賀地域の子だけでなく、他の地域から伊賀地域の高校に通いたくなるような工夫がほしいです。教育行政の方々が、経費削減のために高校をなくすとかクラスを減らすとか後ろ向きなことばっかりしてると、教育を受けている子どもやその保護者にその後ろ向きな雰囲気が伝わって、学校をますます魅力ないものに感じさせてしまうので、教育に携わる大人としての責任をしっかり全身で感じながら、日々の仕事をしてほしいです。数字だけで判断する仕事ではないことを自覚してくださいね。
・積極的に統合して、その分一校あたりの予算や先生の人数を増やして、教育を手厚く行うべきだと考えます。
・大学への推薦など、色々な方法で行ける魅力がもっと増えれば、少し遠くでも入学者は増えるのではないかと思う。特に進学校では、在学中に留学できるなどの付加価値があればと思います。
・特色ある学校で、子供たちが魅力を感じる学校であるとよい。
・魅力的な何かに特価した武器を作って行く事で活性化していって欲しいです。

◎学級規模（人数）に関する内容
・上位層が、関西方面や津方面に流れていはのは、上位層に対応できる学校がないからで、上野でも定員ギリギリだと下位層の生徒でも合格したりするので、上位の生徒は物足りなくなるのではないのでしょうか。ある程度定員をしぼらないとレベルを保てなくなるのでは？
・中学校よりも規模の大きい場所での学びをさせてあげたい。

◎学校選択に関する内容
・学びたい、進学したい気持ちを大切にしてほしい。
・県立高校が統廃合される場合、特にあけぼの高校の存続が厳しいと思います。ただ、あけぼの高校が廃校になった場合、あけぼの高校にしか入学できない子の行き先が心配です。
・行きたい高校に入られるようにして欲しい
・上で書いたように、少ない学校の選択肢の中で、どの学校でも負担が少なく行きやすくて、どの子でもどこか入れる、そんな制作を是非考えていただきたいです。
・同じ地域に生まれたというだけで同じ学校に集められた小中学校だからこそ、いろんな子に出会い色々な価値観を知れる利点もありますが、色んな子が同地域というだけで集まっていることから苦しい思いをすることもあるかと思います。(><)　高校は小中と違い自分で選べるということで似たような価値観だったりが集まりやすい印象でした。なので高校も選べなくなってしまうと辛い思いをする子も増えないだろうか？と思ったりもしてしまいます
・本人が希望する学びの場が少しでも多いと親としては安心します。いつでも選択肢が多く、本人の希望に沿った選択ができるといいなと思います。

◎通学に関する内容
・伊賀市にも通学しやすいように、伊賀鉄道利用の学割や補助を充実させてほしい。
・伊賀地域で高校が減ると、津市の高校を選ぶ子も今より増えるだろうと思います。津市などの学校に通うには交通も不便で、電車の乗り換え時間が合わず、駅で長く待つことも多いと聞いています。通学時間が長すぎて、勉強時間が減って、せっかく学力の高い高校に入っても、通学時間の長さで勉強時間が減るとも聞きます。桔梗が丘高校が無くなったため、上の子が青峰高校に進学しましたが、同じ名張市内でもバスを２路線と電車の通学で交通費も高い上、１時間以上かけて通学していました。今はバスの本数が年々減っており、バス待ちで駅やバス停で長時間待つことも多いです。とはいえ、住む場所と同じ地域の学校であるため、地震や災害時などに迎えに行きやすいという安心感は、やはり親として大きいです。

・伊賀名張地域から違う地域の高校に通うとなると、電車の時間も限られることから、通学時間がかなりかかる。この地域の高校を単純に統合するしないではなく、もし統合するのであれば、他の地域への高校へもっと通いやすくなるように、三重県内全域の高校の配置について、全体的に考えてほしい。
・高校は、奈良や大阪など電車を使えばあるし、自分の希望に合わせて決められたら良いと思うので、伊賀名張というくくりで考えてはいないかと感じました。統合しなければ、生徒がいないのであれば仕方ないかと思いました。
・通学しやすいように、電車やバスの本数を増やして頂きたい。
・電車を全体に通学の便の良いとこをを残して、質の良い先生、施設を優先して絞って行くべき。

◎地域に関する内容
・5 年ぐらいは現在の高校数を維持し、その後は伊賀地域と言わず津市地域も踏まえて考えて行くほうがいいと思います。伊賀地域だけ統合され津市地域が減らなければ今まで以上に伊賀地域外に流出すると思います。
・伊賀地域の県立高校には通う予定がないかと思います。伊賀地域の教育水準をもっと上げてほしいです。
・現状維持を頑張ってほしい。県外からも来てくれるような学校に
・今年受験生の娘がいます。みんな行きたい高校がバラバラなのに驚いた。昔と違って地元にこだわらない子も増えてるような気がします。通信＝不登校のイメージだったけれど普通の子が通信に行きたいとか聞いたこともあります。時代の流れをしっかり汲みとってほしい。私は地元派
・正直高校といえば津高、津西、松高、四高が有名なので、そこに並べるくらいの人気の高校ができて欲しいです。
・卒業後の大学、専門学校等が伊賀地区には無い為、進路はほとんどが県外へ行きます。伊賀地区で学べる場が無いのは非常に残念。
・他地域からも通いたくなる様な高校にしていく
・名張はすでに 2 校しかないのでこれ以上減らすと、選択肢がなくなるので減らさないで欲しい。
・名張市の２校は全く別の特色がある高校なので、必ず２校の存続を望みます。
・伊賀市にも通学しやすいように、伊賀鉄道利用の学割や補助を充実させてほしい。
・伊賀地域で高校が減ると、津市の高校を選ぶ子も今より増えるだろうと思います。津市などの学校に通うには交通も不便で、電車の乗り換え時間が合わず、駅で長く待つことも多いと聞いています。通学時間が長すぎて、勉強時間が減って、せっかく学力の高い高校に入っても、通学時間の長さで勉強時間が減るとも聞きます。桔梗が丘高校が無くなったため、上の子が青峰高校に進学しましたが、同じ名張市内でもバスを 2 路線と電車の通学で交通費も高い上、1 時間以上かけて通学していました。今はバスの本数が年々減っており、バス待ちで駅やバス停で長時間待つことも多いです。とはいえ、住む場所と同じ地域の学校であるため、地震や災害時などに迎えに行きやすいという安心感は、やはり親として大きいです。
・伊賀名張地域から違う地域の高校に通うとなると、電車の時間も限られることから、通学時間がかなりかかる。この地域の高校を単純に統合するしないではなく、もし統合するのであれば、他の地域への高校へもっと通いやすくなるように、三重県内全域の高校の配置について、全体的に考えてほしい。
・高校は、奈良や大阪など電車を使えばあるし、自分の希望に合わせて決められたら良いと思うので、伊賀名張というくくりで考えてはいないかと感じました。統合しなければ、生徒がいないのであれば仕方ないかと思いました。

・通学しやすいように、電車やバスの本数を増やして頂きたい。
・電車を全体に通学の便の良いとこをを残して、質の良い先生、施設を優先して絞って行くべき。

◎その他

・不登校の子供が、増えています。定時制、通信制、夜間高校等も、検討した方がいいと思います。
・少子化で統合や廃校は致し方無いと思いますが、子供達の未来が明るく希望に満ちるよう、最善の策をお願いしたいです。
・今は思いつかない
・高校の無償化も進んでほしい。より選択肢が増える
・公立高校という縛りに拘らないで広く全国から募集かけれるような取組をされてはいかがでしょうか？（地域みらい留学みたいな）
・県立高校が活気ある場となるよう、三重県が主体性を持って取り組んでほしい。安易な統廃合に陥らないように対策を考えてほしい。
・教育する側の自由度があると良い
・伊賀地域に限った話ではないが、教育全般的に意見があるとすれば、飛び級も認める必要があると思います。子供は小学５年ですが、授業に退屈しています。飛び級ができれば、授業も楽しく受けることができると思います。
・どの高校も校舎の老朽化が進んでいます。魅力的な高校になるように改修等も必要かと思います。
・このアンケートは、なぜ中２と小５に限られているのか、理由を知りたい。
・SE FOR DA MESMA SERIE OS ALVNOS DE 11～13 ALVNOS PODE SER A MESMA CLASSE
※同じ学年の場合、11~13 ターゲットの生徒は同じクラスになる可能性があります

「伊賀地域の県立高校に関するアンケート」について

伊賀地域の公立中学校２年生・公立小学校５年生の保護者のみなさんへ

令和６年９月　伊賀地域高等学校活性化推進協議会

本協議会では、当地域の県立高校の活性化について協議しており、その中で地域の生徒・保護者の方の意見を参考に協議を進めたいと考えています。つきましては、以下の資料を参照のうえ、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（当地域の公立中学校２年生を対象に、別途、アンケートを実施しています。）

【資料】

○グローバル化やデジタル化などの社会の大きな変化、少子・高齢化のさらなる進行、教育的ニーズの多様化が進む中、令和４年３月に策定した「県立高等学校活性化計画」では、これからの子どもたちにとって魅力ある県立高等学校のあり方や活性化について検討し、実現していくこととしています。

○その中で、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求められる学びを提供していくには、現在の県立高校の配置を続けていくことは難しい状況であるため、各地域の活性化協議会において、高等学校の学びと配置のあり方についての検討を丁寧に進めるとしており、伊賀地域においては、本協議会で検討を進めています。

○令和６年度の伊賀地域の全日制県立高校１年生の総学級数（定員）は、５校で25学級規模1,000人となっています。

・上野（６学級240人）　・あけぼの学園（２学級80人）　・伊賀白鳳（６学級規模240人）
・名張（５学級200人）　・名張青峰（６学級240人）

※伊賀白鳳高校は、６学級規模（240人）で、30人・35人学級により７学級で展開しています。

○令和６年３月から21年３月までの中学校卒業者数の予測や地域での出生数をもとに、進路状況や他地域との流出入などを考慮して学級数を予測すると、**15年先の令和21年度にはおよそ11～13学級となり、令和６年度の25学級規模と比べて13～15学級減少することが見込まれます。**

	令和６年３月	令和10年３月	令和21年３月
中学校卒業者数	1,408人	1,321人	761人
総学級数	25学級規模	22学級程度	11～13学級程度

※中学校卒業者数：令和10年は予測値、令和21年は地域の出生数

（参考）これまでの協議会の概要や配付資料については、下記のHPをご覧ください。

Ｒ５第１回協議会	Ｒ５第２回協議会	Ｒ５第３回協議会	Ｒ６第１回協議会
(R5.7.25)	(R5.10.30)	(R6.2.26)	(R6.8.8)

伊賀地域の県立高校に関するアンケート《質問用紙》

○　二次元コードを読み取り、Ｗｅｂアンケートに回答してください。
○　Ｗｅｂアンケートによる回答がむずかしい場合は、回答用紙をご利用ください。

Web アンケート

１　右枠内のＩＤをお書きください。

２　右枠内のＰＷをお書きください。

ID:
PW:

３　現在の居住地はどこですか。

①　伊賀市　②　名張市

４　あなたのお子さんはどちらの学年ですか。※両方の場合は、２つ選んでください。

①　中学２年生　　②　小学５年生

５　あなたのお子さんが所属する学年は全体で何人ですか。次の中から１つ選んでください。
※両方の学年にいる場合は、上の学年でお答えください。

①　20 人以下　②　21～40 人　③　41～80 人　④　81～120 人
⑤　121～160 人　⑥　161～240 人　⑦　241 人以上

６　お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。次の中から６つ以内で選んでください。

①　学びたい学科やコースがあること
②　確かな学力を身につける授業が充実していること
③　専門的な知識や技能、資格が習得できること
④　自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること
⑤　地域と連携した活動が充実していること
⑥　文化祭や体育祭などの学校行事が充実していること
⑦　入りたい部活動がある、部活動が活発に行われていること
⑧　友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがあること
⑨　一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できること
⑩　通学のしやすさ・距離　⑪　学校の雰囲気・イメージ
⑫　施設・設備の充実　⑬　進学・就職の実績
⑭　自分の適性や能力　⑮　あなたや先生、友だち等の周囲の人の意見
⑯　学費などの経費負担　⑰　その他（質問７の自由記述へ）

７　質問６で「⑰　その他」を選んだ方は、重視してもらいたい点をお書きください。

８　お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。次の中から５つ以内で選んでください。

①　自ら学び続ける力が身につく教育
②　自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育

③　多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
④　地域を題材として学ぶ教育　　⑤　大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
⑥　人権に対する意識が高まる教育　　⑦　基本的な知識が身につく教育
⑧　ＩＣＴを積極的に活用する教育　　⑨　広く世界で活躍できる力が身につく教育
⑩　社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
⑪　社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
⑫　特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
⑬　一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
⑭　その他（質問９の自由記述へ）

９　質問８で「⑭　その他」を選んだ方は、期待することをお書きください。

10　お子さんが進学する高校の１学年あたりの学級数（人数）について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。質問６の「高校を選ぶときに重視する点」と質問８の「高校に期待する教育」の回答もふまえ、次の中から１つ選んでください。※高校の学級は、１学級 40 人を基本としています。

①　１学級（40 人）　　②　２学級～３学級（80～120 人）
③　４学級～６学級（160～240 人）　　④　７学級以上（280 人～）

11　お子さんが進学を希望する高校に通学するとしたら、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度までなら可能ですか。次の中から１つ選んでください。

①　30 分以内まで　　②　60 分以内まで　　③　90 分以内まで
④　120 分以内まで　　⑤　121 分以上

12　将来（中学・高校・大学等の学校を卒業後）、お子さんにはどこで生活したり、働いたりしてほしいと考えますか。次の中から１つ選んでください。

①　地元（現在住んでいる市町）　②　地元以外の伊賀地域　③　伊賀地域以外の三重県内
④　県外　　⑤　海外　　⑥　一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい
⑦　本人の希望次第　　⑧　特に考えはない

13　現在、伊賀地域には県立高校が５校配置されており、１学年あたりの学級数は合計 25 学級規模となっています。今後、伊賀地域でも少子化が進み、15 年先の令和 21 年度には合計 11～13 学級程度になることが見込まれる中、５校を維持すると各学校の小規模化が進むことから、本協議会では今後の伊賀地域の県立高校の配置のあり方について検討を進めています。このことについて、あなたの意見に最も近いものはどれですか。次の中から１つ選んでください。

①　統合は避けるべき　②　一定の統合は避けられない　③　積極的に統合を進めるべき

14　質問 13 の①～③を選んだ理由や、今後の伊賀地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

15　今後の伊賀地域の県立高校の学びのあり方ついて、ご意見があればお聞かせください。

※ありがとうございました